

2023(令和5)年度  
八丈島フィールドスタディーズ活動報告



武蔵野大学

# 2023（令和5）年度 八丈島フィールドスタディーズの活動報告書

	【題名】	【氏名】	【ページ】
<b>《1班》 8/21(月)～8/25(金)</b>			
1	夏の非日常体験 八丈島	菅原 一志	1
2	八丈島での5日間	寺田 滉基	2
3	非日常の4泊5日八丈島旅	白石 結伊	3
4	ほっこりひょうたん島！！	松枝 玲香	4
5	八丈島に4泊5日しました	高橋 遼	5
6	島での生活	柴田 明莉	6
7	I Love Hachijo!!!♡	鍋島 優心	7
8	八丈島での生活	齊藤 智紀	8
9	都会の喧騒から離れた4泊5日	下村 篤輝	9
10	八丈島での生活	島崎 夏海	10
11	島っ子になってみて	小笠原 華	11
<b>《2班》 8/28(月)～9/1(金)</b>			
12	魅力の詰まった島 八丈島	堀 陽介	12
13	八丈島で過ごした夢のような5日間	中島 優亜	13
14	八丈島での5日間	中里 光李	14
15	気候も人柄の暖かい八丈島	阿部 理久	15
16	八丈島での発見と感動の日々	荒井 優弥	16
17	サマーワンダーランド	寒川 翔悟	17
18	八丈島での最高の日々	真野 紬	18
19	あたたかい島 八丈島	高橋 美帆	19
20	ここが私のアナザースカイ	大竹智也	20
21	自然に囲まれた八丈島	平川 功貴	21
22	心温まる島、八丈島	吉崎 結衣	22
23	自然豊かな八丈島	大智 万愛	23
<b>《3班》 9/4(月)～9/8(金)</b>			
24	八丈島の魅力	高橋かのん	24
25	情け島と呼ばれる八丈島での三日間	高橋奏来	25
26	八丈島FSを終えて	安田直斗	26
27	八丈島での暮らし	松島秀歩	27
28	八丈島FSを終えて	島津 乃杏	28
29	八丈島に見える魅力と見えない魅力	廣野 秀太	29
30	八丈島の魅力を感じた三日間	西尾 大樹	30
31	また訪れたい八丈島	中村 文	31
32	八丈島FS報告書	高 麗奈	32
33	自然に囲まれた島	竹野下 慧太	33
34	何回でも行きたい島	塩谷 柊二	34

## 八丈島フィールドスタディーズ報告書について

新型コロナやインフルエンザが心配される中でしたが、3つの班に分かれて八丈島フィールドスタディーズ（FS）を実施しました。今回は町営バスを利用し、フェニックス・ロベレニー（ロベ）農園も大興園に変更しました。残念ながら3班は台風が向かって来たため活動を3日間に短縮しましたが、どの班も思い出に残る良い活動ができました。これも国民宿舎サン・マリーナの浅沼明さん、ロベ農園での農業体験を引き受けてくださった菊池国仁さん、浅沼利光さん、ふるさと塾の大澤幸一さんたちをはじめとした島の方々のおかげです。

八丈島FSの活動では、単なる観光としないために、主体性を発揮して共同自炊を行い、電動自転車等で自ら計画して島廻りを行うとともに、「八丈島に住むとしたら」というテーマで、島で自立して生活をする視点をもって島の生活を見つめ、島の振興も考えてもらうようにしました。学生が所属する学部や学科は様々ですが、どのようにして生計を立てていくか、自分にはどのようなスキルがあるのか等、これからの大学生活を通じて他の人の役に立つ力を培うことも考えて欲しいとも思います。また、ほぼ全員からぜひ八丈島にまた来たいという意見が報告書の中に随所であり、参加した学生は皆八丈島を好きになって帰ったことが分かります。ぜひ各学生の文章を読んでください。

事後実修では、活動報告と共に次年度に向けた意見を出し合いました。ロベ農園の手伝いや自炊生活は肯定的な意見が多くあり、電動自転車の確保には課題がありました。その他、島内巡りのためにも事前に島の情報をよく調べておいた方がよい。タクシーの方が自転車より楽でよい、島料理をもっと食べたい等の意見もありました。気持ちは分かりますが、年配者のお金を使った物見遊山の旅行ではなく、学生が自ら進んで活動する中で島の交通の困難さや生活の大変さも理解して欲しいとも思います。これらの意見や状況も踏まえて、次年度の活動を計画していきたいと思えます。（担当：三好 勇輔、叶 雅之）

八丈島FSを終えての感想・反省

【1日目】2度目の顔合わせで多少の不安を抱えたまま八丈島に出発した。八丈島までは1時間弱で着いたのでアクセスは非常にいいと思った。島につくと早速気候の違いを肌で感じた。ついてすぐビジターセンターまで徒歩で移動しそのあとふるさと塾へ行き大澤さんのお話を聞き八丈島について詳しく質問した。さらにふるさと牧場に行き展望台から海や街並みを見下ろした。雲がとても近く手が届きそうだった。そこには放牧されている牛などもいてそのあとに海が見える岩場まで行き、とても自然あふれる初日だった。

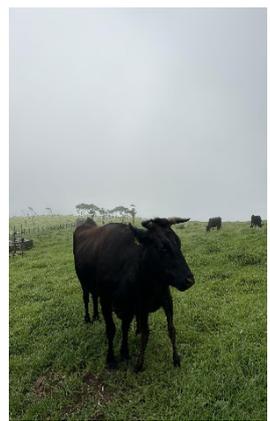
【2日目】この日は利光さんのロベ農園で農作業体験をさせてもらった。作業は簡単な作業だったが虫がいたりとげがあったりしたけど達成感もあり楽しかった。とても暑く急な雨が降ったり大変な一日だったけれど何度も差し入れをいただいたり歌を聞かせてもらえたりと農家の方々からの暖かさを感じた一日だった。一緒に作業した農家さんと話しているうちに八丈島ではロベはとても貴重な存在の植物であることがわかった。

【3日目】まず、バスに乗りめゆ工房に行き黄八丈の歴史や織り方を学んだ。実際に織っているところを近くで見せてもらって大変さを知った。その後、やたけへ行きサンドイッチと赤飯をいただき、絶景の場所で足湯につかりながら昼食を食べた。夜は島の方に島の伝統料理である島寿司を実際に教えてもらい全員で協力し島寿司を握った。目鯛とよばれる魚を使って作る島寿司はただ醤油に漬け込むだけではなく短時間だけ漬け込むことでしょっぱすぎないような工夫があって実際の味も今までに食べたことがないような味がしてとてもおいしかった。

【4日目】4日目は朝から班行動で自転車を借り島を探索した。海の近くに行ったりジャージーカフェでソフトクリームやプリンを食べた。班行動の最後には喫茶店ロマンというところに行き店員のお母さんや常連の方たちと会話をした。そこで島言葉を教えていただいたり質問をたくさんし、とても貴重な時間を過ごせた。最終日の夜はお世話になった方をお招きしてバーベキューをした。ご飯を食べながらあきらさんやとしみつさんと話している時間はとても楽しくまたいつかここで一緒に話したり過ごしたいと感じた。

【5日目】最終日はお世話になったあきらさんとお別れし船に乗り東京のほうへ帰った。島がどんどん離れていくうちにさみしい気持ちが込み上げてきた。帰りの船からの景色はとてもきれいだった。長いようであつという間の八丈島研修だった。

まとめとして、今回の研修で協調性や集団行動の在り方などを学ぶことができた。効率よく予定が進むように仲間と協力することがいかに難しく大切だったかを失敗を繰り返してみにつける事が出来た。



八丈島に住むとしたら

私が八丈島に住むとしたら、地元民や観光客が集まるご飯屋さんを開きたいです。この島は何といっても人が暖かいと思います。街にはあまりお店など存在しておらず、行きつけの場所などあまり無いかもしれないと思ったので自分が八丈島の良さを料理や接客を通して島の外へと広めていきたいです。また、八丈島は景色のいいところがとても多く、都会に住む人が普段あまり見られない光景が広がっているのでSNSを使って誰もが訪れたいくなるような島ということを宣伝したいと思います。

## 八丈島での5日間

グローバル学部グローバルコミュニケーション学科 2315063 寺田滉基

### 八丈島FSを終えての感想・反省

八丈島FSの5日間を終え、まず一番初めに思い出したのは島の豊かな自然である。海や山、街中などどこを切り取っても島ならではの趣があり、都心では感じることのできない非日常的な感覚を味わうことができた。そして、次に思い出したのが島の人々の温かさである。島の人々は私たちが話しかけると親切に返してくれるだけでなく、おすすめ場所や島言葉を教えてくれた。これもまた、都心ではなかなか体験できない貴重なものだった。これらのことを踏まえ、私が特に島で印象に残っている思い出を2つ紹介する。



#### 〈ロベ農園〉

1つ目が、ロベ農園の手伝いである。2日目にロベ農園の手伝いをした。日本国内にあるロベのほとんどが八丈産であり、東京ディズニーリゾートの周りにたくさん植えられているロベも八丈産である。そんなロベの農園の手伝いは想像よりも過酷で、土から掘り起こした塊の苗を手で1つ1つに分けるという作業だった。1班の皆が暑さと作業の大変さでバテていると、農園の方々が採れたてのマンゴーやスイカ、またジュースやアイスの差し入れをしてくれた。おかげで時間が1時間延長になっても最後までやり切ることができた。また、八丈のロベ農園がどれほど大変か知ることができたとともに、達成感や島の人々の温かさを感じることができ、とても貴重な体験となった。



#### 〈足湯きらめき・やすらぎの湯〉

2つ目が、足湯きらめきである。裏見ヶ滝の前の坂を下っていくと、海目の前に足湯きらめきがある。足湯きらめきは無料で誰でも利用することができ、目の前の海を一望しながら入る足湯は少し熱かったけれどとても気持ちよかった。また、足湯に入りながら製菓やたけのサンドイッチと赤飯を食べた。やたけのパンはとても柔らかく、八丈で有名と言われる理由がわかった気がした。足湯を出て海の近くまで行くと、そこでは一瞬だけウミガメを見ることができた。足湯に入り終わると次はやすらぎの湯へ行った。やすらぎの湯も海のすぐ近くにあり、湯船に浸かりながら八丈の海を一望することができた。この2つの湯は、都心ではなかなか無い良いロケーションの温泉で、新鮮な気分を味わうことができた。



### 八丈島に住むとしたら

八丈島の5日間の中で、外国人観光客が想像よりも少ないということを感じた。八丈島は日本人の特徴である思いやりの心を持った人が多くいて、また日本本島では見ることのできない山や海などの豊かな自然も多くある。なので私はもし八丈島に住んだら、大学で学んでいる英語・中国語のコミュニケーションを活かして外国人に島の良さを知ってもらえるような活動をすると思う。また、島の綺麗な海で毎日サーフィンなどをして、自然に囲まれながらのんびり生きたいと思った。

## 非日常の4泊5日八丈島旅

看護学部看護学科 2363108 白石結伊

八丈島FSを終えての感想・反省

### 〈1日目〉

八丈島の天候は亜熱帯気候であり天候が変化しやすいため、行ききの飛行機では八丈島に定刻通りに着陸することができず少し遅れての到着となった。最初に訪れたふるさと塾では八丈島について自分たちが調べたことについて1つ1つ補足しながら説明して頂き、八丈島について学ぶことができた。次に訪ねたふれあい牧場では牛と、展望台からの絶景を見ることができとても良い思い出となった。午後の八条島観光では海辺に行くことができ、島ならではの景色を堪能することができた。

### 〈2日目〉

ロベ農園では固まったロベの苗を1つずつ分ける作業を行った。作業中雨除けや日光で熱くないようにとブルーシートで日陰を作ってくれたり、休憩中冷たい飲み物や獲れたてのマンゴー、スイカやアイスなどを差し入れていただいたりして、島の人の温かさに触れることができた。農園の方々や班員と話しをしながら楽しく作業を手伝うことができた。また夜はカレーライスを作り、時間がない中みんな協力して効率よく、とてもおいしいカレーライスを作ることができた。

### 〈3日目〉

最初に訪れためゆ工房では黄八丈について学んだり、古い織機で黄八丈を織る姿を見学させて頂いたりして貴重な経験をすることができた。次に訪れた裏見々滝ではマイナスイオンを感じる事ができた。坂道を下ると足湯であるきらめきの湯に訪れ、海を見ながらやたけ製菓で買ったサンドイッチとお赤飯を食べた。気持ちの良い足湯と美しい景色を見ながら食べるご飯は格別においしかった。

### 〈4日目〉

班で自転車に乗り八丈島を巡った。海辺でかき氷を食べたり、ジャージーカフェでおいしいソフトクリームを食べたり、喫茶ロマンで島の方と交流し、八丈島の方言や、娯楽について学ぶことができた。坂の多い八丈島では登りは大変だったが下りは風を切って走ることができ、とても気持ち良かった。夜にはお世話になった方々とBBQを行い、楽しい時間を過ごすことができた。

### 〈5日目〉

帰りは船で東京まで10時間かけて帰った。5日間一緒に過ごした仲間と別れたくないと寂しい気持ちになったくらい、毎日が非日常で充実したとても楽しい5日間の旅となり、最高の思い出を作ることができた。



### 八丈島に住むとしたら

私は大学で看護学を学んでいる為、八丈島に住むなら看護師として働きたいと考えた。八丈島は高齢者が多いと感じ、また坂道も多く足に負担がかかるのではないのかとも感じたので、看護師の需要が大きいのではないかと考えた。また、八丈島で看護師として働く最大のメリットとしては、島民同士での関わりが強く繋がりが深いという事であると考えた。看護の点から見ても地域同士の関わりがあるという事はとても大切だと学んだため、八丈島で看護師として働くことも良いのではないかと考えた。

# ほっこりひょうたん島！！

人間科学部人間科学科 2331155 松枝玲香

## 八丈島FSを終えての感想・反省



### <1日目>

飛行機に乗って1時間程で八丈島に着いた。八丈ビジターセンターに歩いて向かっている途中に急に雨が降り始めて「これが八丈島の気候か」と感じて、島の人たちは大変そうだなと思った。午前中は、ふるさと塾に行き島の歴史や文化の話を聞き、タクシーに乗ってふるさと牧場に行った。午後は、タクシーを使用しながら大阪トンネルや八重根港などの島の絶景をみに行った。中でも、大阪トンネルから見た島が美しすぎて来て良かったと思った。

### <2日目>

歩いて大興園に向かい、ロベ農園でロベの苗を一つずつ割くという農作業を手伝わせて頂いた。ここでも、急な雨に襲われて農作業が難しい状態になったが、島の方達は、様々な工夫をしながら活動していて、臨機応変に対応している部分が最も印象に残った。また、作業が疲れていると島で出来た採れたてのマンゴーやスイカをご馳走して頂いて人柄の良さと暖かさを感じた。私は、マンゴーが苦手だったが島のマンゴーが美味しすぎて好きになった。



### <3日目>



午前中は、ゆめ工房に行って間近で縫っている所を拝見させて頂いて、永遠に同じ作業を繰り返して目が疲れてしまわないのかと思った。しかし、縫うたびに感動を起こすと島の人が話していて、自分もその感動を味わってみたいと感じた。そこから、滝や温泉、海に行き島の自然に触れることができた。足湯をしながら食べた、やたけ製菓さんのパンとご飯が美味しすぎて驚いた。午後は、島寿司を島の方に教わりながら作った。みんなで楽しみながら一生懸命握った島寿司は、想像以上に美味しく家に帰ったら家族や

友人と島寿司パーティーを開こうと決めた。

### <4日目>

自転車を借りて、班ごとにサイクリングをした。自転車を漕いでいて道路を渡りたい時に、島の人たちはすぐに道を譲ってくれて驚いた。その時の気分で島の中を巡って、班の仲間とふざけて爆笑してとても楽しかった。特に、ロマン喫茶で食べたご飯と島の人と触れ合えた時間が島でしか感じることでできない体験だと思った。その後、島の方達とBBQして、島の人恋バナをして盛り上がった時は面白くて、楽しかった。



### <5日目>

朝早く起きて、日の出を見た。みんな眠そうにしながらも日の出を見たり、誰が一番遠くに石を投げられるか競い合ったりしている姿を見て、寂しくなりもっとみんなと八丈島にいたいと思った。帰りの船ではゲームをして楽しみながら思い出を作った。陽が落ちて、東京の夜景を海から見たときは、現実に戻った気がして悲しかった。それと同時に、八丈島で過ごした日は自分にとって非現実的で貴重な体験であったと改めて感じる事ができた。



### 八丈島に住むとしたら

私が実際に八丈島で過ごしてみて特に感じたことは島の人たちの暖かさである。この、島の人たちの暖かさと八丈島でしか味わえない海と自然の魅力が最も印象的であったため、この島の良さをSNSを使って広めていきたいと考える。ただ伝えるだけでは意味がないので、島の人達とも交流している場面や八丈島の1日を動画にして、YouTubeに投稿することで島の魅力をより多くの人に届け、八丈島に住みたいと思えるように発信していきたいと思う。

## 八丈島に4泊5日しました

工学部建築デザイン学科 2347066 高橋 遼

### 八丈島FSを終えての感想・反省

私は、8/21～8/25に八丈島へ行きました。最初はほぼ初対面の人たちといきなり4泊5日の旅行はどうかと思っていましたが、初日からみんなと話したりするうちに心地よい雰囲気ですべて5日間八丈島を堪能することができました。

#### 〈1日目〉

八丈島上陸。初めて八丈島に来たのでとてもわくわくした気持ちでいっぱいでした。ふるさと塾に行った後、大阪トンネルを通る直前の道路から見える八丈島の絶景を堪能しました。絶景を見た後は八丈富士ふれあい牧場に行きました。ここで昼飯を食べました。

#### 〈2日目〉

ロベ園にて1日農業体験をしました。初めての農業体験でとても疲れました。しかし、みんなと1つのことに集中して取り組むことができたおかげで、より仲良くなることができた気がしました。農業を通じて人と協力することの大切さを改めて知ることができました。また、農家の人たちの暖かさにとっても感動しました。スイカや飲み物を頂けたおかげで農作業により力が入りました。

#### 〈3日目〉

1日の始まりは黄八丈めゆ工房へ見学へ行きました。伝統の製法で布を作っているところを実際に見て迫力を感じました。見学しに行った後、裏見ヶ滝の裏を実際に通り、その後足湯きらめきで足湯に浸かりながら昼食を食べました。その後、やすらぎの湯で疲れを取りながら海を眺めていました。

#### 〈4日目〉

午前中は班ごとに分かれて島内巡り。班のみんなと話し合っ決めて決めた場所で島を感じてきました。班のみんなと協力し合っ島を巡ることができて班のメンバーとの仲も深まったし島を堪能することもできました。午後は、みんなで食材を買ってBBQをしました。島で食べる最後の夕食だったのでおもしろい食べました。BBQで島での生活事情などを聞くことができてより八丈島への興味が沸きました。

また、色々なことができて色々な思いができたのでこの日が1番島に住みたいと思った日でした。

#### 〈5日目〉

朝日を見るため4時30分にサンマリーナを出発し海の近くへ行きました。とても絶景でした。会って2日目のメンバーと八丈島にきて4泊5日でここまで仲良くなれるかと思うくらいに仲良くなれたと実感しながら朝日を見て帰りたくない気持ちがとても高まっていました。朝食を食べてすぐ帰りの準備をし、サンマリーナを出発。フェリーに乗り、八丈島出航。約8時間の移動時間でしたが皆と遊んでいたらすぐ着きました。みんなと過ごした4泊5日はとても楽しく良い夏の思い出になりました。



### 八丈島に住むとしたら

私が八丈島に住むとしたらホテルや宿を営みます。その理由は、私たちが宿泊させてもらったサンマリーナを運営している明さんの島の魅力を広めたいという想いに共感したからです。また、島人の高齢化を防ぐために防ぐために島外からの長期滞在者数を増やすために八丈島の魅力を全国へ発信できたらいいなと思っています。

八丈島の気温は日が出ていると暑いですが、海が近いので風が涼しくて心地よい気温でした。しかし、天気がコロコロ変わるので少し大変だったのでその点は住む上で不便な点だと思いました。

八丈島FSを終えての反省・感想

【1日目】

まず私たちは空港から1時間ほどかけて島へ向かった。島に到着してすぐに湿気の多い場所だと感じた。タクシーでふるさと塾に向かい、大澤さんから島の名所や食べ物、方言についてたくさん貴重なお話を聞くことができた。その後タクシーを使いながら移動していると海に到着した。海はとてもきれいで海底が透けて見ることができた。はじめはみんなとうまく打ち解けられるか不安だったけれど、いつのまにかその不安がなくなって、1日目からみんなとの旅を楽しむことができた！



【2日目】

2日目はロベ農園の体験をさせてもらった。農園の人たちは優しい方ばかりで、私たちにスイカやマンゴーやアイスをご馳走してくれた。果物はどれも食べたことがないくらい甘くて感動した。ロベの苗を分ける作業は、みんなと話しながらだとあっという間で、くにひとさんが休憩時間に八丈の歌を披露してくれたのがとてもうれしかった。またこの農園にいきたいと強く思った。



【3日目】

3日目は黄八丈の工房を見学しにいった。黄八丈を作るのにはとても時間がかかることがわかって、とても貴重な話を聞くことができたし、黄八丈を織っている従業員の方の真剣な表情が印象的だった。やたけのカツサンドはとてもおいしくて、おまけもつけてくれて、この島の人たちは本当に暖かいと感じた。夕食はみんなで島寿司を作った。あきらさんや大澤さんが作り方をとても丁寧に教えてくれて、とても楽しかった。5日間の中で、食事の準備や後片付けをみんなが率先してやってくれたことがとても印象的で、団結力が生まれていくのがわかった。



【4日目】

4日目は班行動でサイクリングに行った。自転車に乗って海に向かってしていると、島の方が「海あっちだよ！！」と声をかけてくれて、無事に海に着くことができた。海は青くてとてもきれいで、入れないのが少し残念だったけど、たくさん写真をとった。コナンの映画の舞台になった海辺のベンチも、とても綺麗で印象的だった。夜はみんなでBBQをした。あきらさんやとしみつさんも参加してくれて、一緒にお話をできたことがとても嬉しかった。



【5日目】

最終日は朝から船に乗った。宿舎にもう戻って来れないことがとても名残惜しかった。船の中はとても充実していて、心配していた船酔いもあまりなくて快適だった。船の中でゲームやトランプをしてすごしていたらだんだん空と海の色が暗くなっていて、すぐに竹芝に到着した。竹芝ですぐに解散になってしまったのは寂しかったけど、またこのメンバーで集まりたいと強く思える旅になった。



八丈島に住むとしたら

もし私が八丈島に住むとしたら、小さな喫茶店をやりたいと思いました。八丈島にはおもっていたよりもカフェや喫茶店が多くあって海が見える喫茶店があれば素敵だと思います。そして八丈島は住んでいる人がみんな暖かくて、この島に自分も住んでいたら観光客に対して明るく優しく接してあげたいと思うようになるだろうと思います。コンビニや電車がなく、少しの不便はあっても、ここに住みたいと思わせる魅力が八丈島にはあると感じました。

# I Love Hachijo!!!♡

経営学部 経営学科 2320133 鍋島優心

## 八丈島FSを終えての感想・反省

### <Day1>

ふるさと塾では、ネットでは分からないことを知ることが出来たのと同時に、大澤さんの八丈についての知識の多さに驚いた。いただいたカードを配り八丈島を広めたいと思う。あめのもり商店では島の方が気さくにお話していただき、東京ではほとんど無い経験だったので驚いた。島の方がおすすめしてくださった正油飯がとても美味しかった。また、魚が見えるほど透き通る八丈ブルーの海に感動した。家族や友達にも見せたいと思った。宿舎ではカードゲームなどをして11人みんなの仲を深めることができ、楽しい1日だった。



### <Day2>

ロベの苗を分ける作業を頑張った。想像以上に疲れたが、休憩時には甘いマンゴーや物凄く大きなスイカや冷えたアイス、そして八丈のお歌を聞かせていただき疲れが吹っ飛んだ。島の方々の温かいおもてなしに胸がいっぱいになった。ロベ農園での作業を頑張った後に食べたソーセージ入りカレーは、史上最高に美味しかった。作ってくれた人ありがとう！



### <Day3>

めゆ工房では実際に織っている所を近くで拝見する貴重な経験をさせて頂いた。足湯に入りながらいただいたサンドイッチとお赤飯も最高だった。夕食作りではくさやの匂いに驚きましたが、明日葉と和えた伝統料理を味わうことができ嬉しかった。明さんが丁寧に作り方を教えてくださったおかげで、おいなりさんも美味しく出来上がった。島寿司も甘い味付けがとても美味しく、家でも作ってみようと思った。



### <Day4>

サイクリングでは、突然現れた海と空と緑が一望出来る絶景に感動した。あの景色は八丈島でしか見られないと思うので、この島に来られて本当に良かったと思った。美味しいハンバーガーも食べられて、素敵なお土産も購入できて、綺麗な景色も見られて、充実し過ぎた1日だった。まだまだ行きたい場所があるので、八丈島にまた来たいと思った。夜は明さんやとしみつさんと一緒にバーベキューをした。一緒にお話が出来て楽しかった。



### <Day5>

朝日を見に行ったら。雲で見えにくかったけれど、最高の11人と見ることが出来たので幸せだった。船から見えた夕日や夜景は大変綺麗だったが、徐々に八丈島FSの終わりが近づき1班のみんなとの別れを実感し寂しかった。またこのメンバーで集まりたいと強く思った。素敵なお友達と出会えて、美しい自然も沢山感じられて、充実した5日間だった。



### <八丈島に住むとしたら>

移動販売を行いたいです。このFSでスーパーマーケットのような食品や日用品を購入する場所が少ないことが分かりました。なので私が移動販売を行って、ご年配の方や買い物に行く時間がとりにくい方などの負担を和らげられたらいいなと思いました。

今回の学習を通して八丈島の魅力を沢山知ることが出来ました。海や星空、山や空気が綺麗なだけでなく島の方々の温さも印象的で、素敵なお島でした。I LOVE HACHIJO!!!

## 施設実修を終えての感想・反省

## &lt;1日目：ビジターセンター、ふるさと塾、ふれあい牧場、名所見学&gt;

八丈島へ飛行機で向かった。着陸時、滑走路が雲で見えないため、八丈島への到着が少し遅れてしまうというトラブルがあったが、それも楽しかった。着陸し、ビジターセンターへ向かう途中、にわか雨が降り大変だったが、八丈島の気候を体験できた。右の写真は千畳敷で、溶岩が固まってできたものである。溶岩の流れや空気が抜けた後など、溶岩の形を見ることができた。



## &lt;2日目：ロベ農園で農作業&gt;

2日目は、ロベ農園で農作業をさせてもらった。絡まったロベの苗の根をほどく作業を体験した。この日にはわか雨が多く、日差しも強かったが、農園の人がブルーシートで屋根を作ったり、マンゴーやアイス、スイカをくださったりと、島の方の親切心を感じることができた。「沖で見たときゃ鬼島と見たが着てみや八丈は情け島」という、八丈の民謡であるショメ節を披露してくださったのが印象に残っている。ショメとは塩梅という字が由来であるそうだ。



## &lt;3日目：黄八丈めゆ工房、やたけ製菓、裏見ヶ滝、温泉、島寿司づくり&gt;

3日目は、バスで八丈島の観光をした。まず、黄八丈めゆ工房に向かい、黄八丈について学んだ。黄八丈は、八丈島の特産品の手織物で、実際に織っているところも見る事ができた。次に、やたけ製菓で昼食を購入した。お赤飯をおまけしてもらい、嬉しかった。右の写真は裏見ヶ滝で、滝を裏から見る事ができる、八丈島のパワースポットである。その後は足湯きらめきとやすらぎの湯につかった。夕食は作り方を教えてもらい、島寿司を握って食べた。とてもおいしかった。



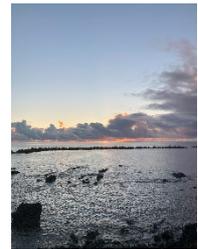
## &lt;4日目：サイクリング&gt;

4日目は、3つの班に分かれ、自分たちで決めたルートでサイクリングした。赤松自動車工場で自転車を借り、絶景な海辺のベンチ、八丈島名産品のジャージー牛乳を使用している jersey café、お土産屋さんの民芸あきを訪れた。サイクリングしてみて、八丈島は坂が多いことに気が付いた。坂を下って風を感じるのはとても気持ちよかった。夕食時は、お世話になった島民の方を招いてBBQをし、たくさんお話をすることができて楽しかった。



## &lt;5日目：朝日、竹芝へ出航&gt;

5日目は、朝4時半に起き、日の出を見た。雲があり、よく見られなかったが、とてもきれいだった。帰りは船で竹芝へ向かった。途中でいろいろな島やトビウオ、狩りをする海鳥も見ることができ、船の中でも楽しい時間を過ごすことができた。到着直前にお台場を見ることができ、毎日通っている場所を海から見るのは初めてで、新鮮だった。八丈島の星空はとてもきれいだったが、東京の夜景もとてもきれいだった。そして、東京の空の狭さを実感することができた。今回のFSでは、新たな経験ができただけでなく、いつもの景色を違う視点から見ることができた。



## &lt;八丈島に住むとしたら&gt;

私が八丈島に住むとしたら、雲を観測し、にわか雨を正確に予測する天気予報士として生活したいと思った。可能か不可能かはわからないが、雲や風向き、風速などを観測し、数理モデルで表しシュミレーションするなど、数理工学科の特色を1番活かすことができる職業だと思った。八丈島で生活して、天気がとても変わりやすいことが分かったので、私が住むとしても正確な天気がわかると便利だと思った。住む場所は、山頂に住みたいと思った。八丈島での生活で特に星空が印象に残っていて、何の遮弊物もなく、何の明かりもなく、雲にも邪魔されることのない山頂で毎日星空を観られる生活が出来ればいいと思った。また、朝日や夕日、夜景や海など、山頂からはきれいな景色がいろいろ観ることができるのもいいと思った。八丈島FSは、島での生活を体験することができるとてもいい機会だった。

## 八丈島FSを終えての感想・反省

## 【1日目】

ふるさと塾では、島民である大澤幸一さんに八丈島に関するいろいろなお話を聞くことができた。島言葉についてなどのお話を聞き、八丈島についての理解を深めることができた。ふれあい牧場の展望台に行った。高いところからの景色はとてもきれいだった。そこからタクシーで大阪トンネルに行った。BBQ場の近くの海にも行き岩場を歩いた。都会ではあまり体験できないと思う。日向ではあったが、風がとても気持ちよかった。夜はみんなでチーズカレーを食べた。とてもおいしかった。



## 【2日目】

菊池国仁さんのロベ農園でお手伝いをさせていただいた。ロベとは、花束用や観賞用の鉢植えとして生産されている草である。とも土に埋まっているときはたくさんの苗がくっついているのでそれをほども作業を体験させていただいた。飲み物やアイス、スイカやマンゴーの差し入れを下さり、農園の方々ともお話をして楽しく作業をすることができた。途中国仁さんが歌を歌って下さりとても盛り上がった。



## 【3日目】

めゆ工房に行き、自然の中にある葉などで染めた糸を使い実際に織っているところを見せていただくという、とても貴重な経験をした。島にある足湯や温泉にも入ることができた。足湯のところからは海を一望することができ、とても絶景だった。夜は島の方に教わりながら島寿司を作った。普段あまり好きではなく生魚は食べないが、そこで食べた目鯛はとてもおいしく感動した。



## 【4日目】

この日は自由行動でサイクリングをした。電動自転車ではなくとても疲れたが、風にあたるのはとても気持ちがよかった。名探偵コナンの映画の舞台にもなった八丈島。その聖地である海辺のベンチに行けたことがとてもうれしかった。そのあとに行った、ジャージーカフェのプリンとパッションフルーツのアイス付きジュースはとても絶品だった。夜はお世話になった方々を招きみんなでBBQをした。たくさんお話ができてとても楽しかった。



## 【5日目】

10時間かけて船で帰った。船からの景色は普段見ることのできないものでとてもきれいだった。みんなとのお別れがとてもさみしかった。みんなと過ごした4泊5日は最高に楽しかった。

## 八丈島に住むとしたら

飲食店や居酒屋、カフェなどをたくさん経営していきたいと考える。毎日畑仕事をしていると絶対お酒を飲みたいと思う。飲んでいとは思いますが、家で缶とかのお酒が多いと思う。居酒屋を作れば、近所の人や仕事仲間とかとも一緒に飲めるいろいろな種類のお酒を飲むことができる。カフェはまず都会と比べたら圧倒的に少ないと思うからである。都会で流行っているものなどをたくさん八丈島に広めていきたいと考えたからである。しかし、居酒屋やカフェがなくても私たちの4泊5日の旅はとても充実していた。それは都会とは違う島でしかできない楽しいことがたくさんあるからだと思はれる。

## 八丈島FSを終えての感想・反省

### [1日目]

八丈島についての瞬間、東京の空気と違うのを感じました。やはり緑が多くて空気がきれいでした。ふるさと塾では大澤さんのお話を聞きました。ここで八丈島がどれだけ人々に大切にされている島かが分かりました。ふれあい牧場や展望台からの景色を見て、自然がたくさんあり、島を感じる景色は圧巻でした。



### [2日目]

2日目は東京では絶対経験することができない口ベ農園で農作業の手伝いをさせていただきました。農家の方々はとても気さくな方たちで、とれたてのマンゴーをくださったり、スイカを二種類もくださったり、島の歌を披露してくださったりなど、貴重な体験をさせてくれました。みんなで同じ作業をすることでさらに仲が深まりました。



### [3日目]

3日目はめゆ工房で黄八丈を織っているところを拝見しました。夕食はみんなで島寿司を作り、八丈島の伝統料理に親しみながら美味しくいただきました。くさやというお魚を初めて食べたのですが、あまりの強烈な匂いに驚きました。このお魚を食べたことない人たちがほとんどだと思うので、是非一度、食べてもらいたいです。



### [4日目]

4日目は班別に別れてサイクリングをし、島をめぐりました。自転車のチェーンが外れてしまったり、友達のズボンが破けてしまったり、色々ハプニングが起きましたが、島の方と協力して島を堪能することができました。八丈島にしかないカフェに行って食べたことのないものを食べ、観光スポットに行き、より一層八丈島を知れた日だなと感じました。



### [5日目]

5日目はお世話になった方に感謝をし、八丈島にも感謝をしながら船で東京に戻りました。船に乗る前にみんな早起きして八丈島で初めて朝日を見ることができました。海で見る朝日は初めてだったので今でも鮮明に景色を思い出すことができます。



今回の四泊五日の旅でかけがえのない友達と出会うことができ、とても貴重な体験をさせていただきました。見たことのない食べ物や植物を見て、自分の大事な人生経験になったと思うし、これからもっといろんな場所に行っているいろんなことを体験し、いろんなものを知りたいと思えるきっかけにもなりました。八丈島のみなさまには感謝しかありません。八丈島で見た景色は今まで見た景色の中でも忘れられないくらい綺麗な景色ばかりで写真に収めることができよかったです。日々辛いことがあってもこの場所でみんなと撮った写真を見たら明るい気持ちになれる気がします。FS八丈島に参加できて心からよかったです。この経験を忘れず生きていきたいです。

## 八丈島に住むとしたら

私は八丈島でたこ焼き屋さんをやりたいです。八丈島には、ご当地の飲食店がないと感じたので、八丈島に住んでいてもご当地の食べ物が食べられるようにたこ焼き屋を建てたいです。八丈島にたこ焼き屋さんは無かったと思うので、私が作るのが得意なたこ焼きを八丈島に住んでいる人に食べてもらいたいです。くさやを入れたたこ焼きなども作って、八丈島で人気の飲食店になりたいです。

八丈島FSを終えての感想・反省

《一日目》

初日は八丈島についてすぐにビジターセンターに向かい、島の自然について学んだ。その後ふるさと塾に行き、かるたを使って八丈島特有の言葉を楽しく学んだ。自然と文化の両方を学んだあとは八丈富士ふれあい牧場展望台に行き絶景とともにお昼ご飯を食べた。そしてタクシーを利用して八丈島の名所を巡った。目に映る景色はどれも素晴らしく、私たちが虜にした。



《二日目》

二日目はロベ農園の農作業の手伝いを行った。私は農作業を行ったことがなかったので、足を引っ張ってしまうのではないかと少し不安だった。しかし、優しい声掛けや差し入れ、雑談のおかげで楽しみながら作業に取り組むことができた。島の人々と八丈島や全く関係のない話をしたあの時間は私にとってかけがえない思い出となった。



《三日目》

三日目は最初に黄八丈の工房を見学した。歴史ある機織り機とともに説明を受け、その魅力に触れた。目の前で紡がれていくところを見たら私も黄八丈によるものが欲しくなったが高価なものが多かったのでグッとこらえ次島に訪れた際に買うことを決意した。その後は裏見ヶ滝と足湯きらめきを訪れた。猛暑の中坂を上り下りしたのでとても疲れた。昼食に訪れた男メシ食堂では椎茸をピザにしたものを友達とシェアした。疲れていたこともありとってもおいしかった。あまりのおいしさに満場一致で四日目のBBQの食材となった。宿に帰ってからは島寿司作りの体験をした。多くの家庭で島寿司を作るだけでなく、その味は家庭によって少しずつ違うという話は寿司を握るのはプロの仕事だと思っていた私にとっては衝撃的だった。



《四日目》

四日目はレンタルサイクルを利用して島の各所を巡った。前日猛暑の中歩いたので自転車もとても暑いのではないかと考えていたがきれいな景色を眺めながら風を切る感覚は気持ちいいという言葉では物足りないほどに爽快感があった。民芸あきではどんなお土産を買ったら家族にこの魅力を伝えることができるか頭を悩ませた。その後訪れたカフェではあしたば味のアイスなどを食べた。夜に行ったBBQではくさやを食べることができた。母がなぜお土産に買ってこなくていいと言ったのかをこの時知ることができた。広がる夜空を眺め、談笑し、島の味を堪能したあの時間は楽しさとともに旅が終わる切なさを感じさせた。



《五日目》

島を後にし、10時間を超えるフェリーでの旅に出た。小さくなっていく島を眺めながら四日間の短く、濃い時間を思い返していた。島の人々や引率の先生、新たにできた素晴らしい友人達に支えてもらい、八丈島という魅力的な島を感じる事ができた。この島に「ただいま！」と言ってまた訪れることができる日のことが今から待ち遠しい。



《八丈島に住むとしたら》

私が八丈島に住むとしたら教育学部で学んでいる知識を活用し教員になりたい。また、その中で本州に住む子供たちに八丈島の魅力を伝える活動を行いもっと多くの人に島の魅力を知って貰いたい。私はこのFSまで八丈島のことをほとんど知らなかった。こんなにも素敵な島なのにそれを知る機会が少ないというのはとても勿体ないと思った。そういう人たちが八丈島について知るきっかけを作るだけではなく、逆に島の人たちに本州の魅力について知ってもらえる機会にもなればより良いと思う。ただ教えるだけに留まらず、子供たち同士が教えあい成長する場を設けることのできる教員になりたい。公立の教師になったら実際に八丈島で教壇に立つかもしれないということを考えると、意外と数年後には上記の活動をどうやったら良いものができるか悩んでいるかもしれないと思った。

八丈島FSを終えての感想・反省



【1日目】羽田空港から搭乗時間約1時間で八丈島に到着した。八丈島空港に着いて特に印象に残っていることは、「おじゃりやれ」という歓迎の言葉が各地にあったことと、空港を出たらすぐに大きな八丈富士が見えたことだ。島の住民は心が豊かな人が多く、たくさんの人に歓迎してもらった。また、同じ東京とは思えないくらい自然豊かで美しい景色が広がっていた。八丈島に着いてまず、ビジターセンターに向かった。ビジターセンターでは八丈島の形や気候など様々なことを学ぶことができた。次に、ふるさと塾で大澤さんに八丈島についてのお話を伺った。私は事前学習で八丈方言について調べて、その時から「八丈・島ことばかるた」に興味があり、体験しながら知識を深められた

ので良い経験になった。その後、八丈富士ふれあい牧場展望台で昼食を食べ、タクシーで大阪トンネルへ行ったり、宇喜多秀家と豪姫の像を見たりして八丈島の名所を回った。

【2日目】2日目は、ロベ農園で農作業のお手伝いをさせていただいた。私は主に小さいロベの根を分ける作業をした。ロベの根は細いものから太いものまで様々な大きさがあり、引っ張っても切れることがないくらいとても頑丈であった。私たち12人がお手伝いしたことを普段は2人で作業をされていると聞き、大変だと感じたとともに、作物に対する感謝の気持ちを覚えた。休憩では、差し入れでアイスやドリンク、スイカをいただいた。スイカは顔の倍以上の大きさがあり、とても甘くて新鮮で美味しかった。農作業の後は、八丈ストアで買い出しをし、夕食にカレーを食べた。



【3日目】3日目は、黄八丈めゆ工房に行った。黄八丈の歴史や色の出し方、工程などを学ぶことができた。色によって染め方が異なり、黒色は泥染めで行われているということが特に印象に残った。染色された絹を触らせていただいた感触は、ツルツルしていて光沢があった。次に、足湯きらめきに行き、海を見ながら足湯に入った。昼食は男メシ食堂に伺った。男メシ食堂では、椎茸を栽培しており、4日目のBBQ用に椎茸を購入した。その後、サンマリーナへ戻り、島寿司の作り方を教えていただきながら握った。島寿司は魚の臭みがなく、魚が苦手な私でもとても美味しく感じた。作り方が簡単なのに美味しいので、自宅でも作りたと思った。

【4日目】4日目は自転車で島めぐりをした。始めに、庭土園地(海)に行った。とても透き通っていて、観光で八丈島を訪れる機会があったら泳ぎたいと思った。次に、民芸あきでお土産を買った。そして、ジャージーカフェに行ってプリンとパッションフルーツヨーグルトを食べた。さらに、ビジターセンターへ行き、キョンを見たり、ジェラートを食べたりした。キョンは鹿を想像していたため、想像よりも小柄でとても可愛らしかった。その後、明さんを含めた15人でBBQをした。BBQでは3日目に購入した椎茸に店員さんお勧めの「ひんぎゃの塩」をかけていただいた。椎茸特有の臭みがなく、塩だけで十分なくらいしっかりとした味わいで美味しかった。初対面の人と八丈島を訪れたとは思えないくらい仲を深めることができ、とても楽しいひと時を過ごすことができた。



【5日目】最終日。船に揺られて竹芝へ向かった。船から見る八丈島付近の海はとても青く、澄んでいた。竹芝に近づくにつれ海が濁っていくのと、山の景色が次第に家が変わっていくので寂しさを覚えた。このFSで素敵な島と最高のメンバーに出会えて本当に良かったと心から感じる。地元に戻っても家族や友達に八丈島の魅力を伝えていきたい。

「八丈島に住むとしたら」

八丈島で初めてパッションフルーツの味を知り、あまりの美味しさに感動した。そこで、八丈島に住むとしたら、パッションフルーツを使用した様々なレシピを考案したい。そして、SNSを通じてレシピを発信したい。私が住む地域では、パッションフルーツを取り扱っているお店を見たことがない。同じ境遇の地域やパッションフルーツの味を知らない人も多いだろう。だから、パッションフルーツの投稿をして八丈島でパッションフルーツを食べたいと思ってもらいたい。また、お訪ねになる観光客も増やしたい。

## 八丈島での5日間

人間科学部社会福祉学科 2333072 中里光李

八丈島FSを終えての感想・反省

### <1日目>

八丈島に到着し、空港から徒歩でビジターセンターに向かった。ビジターセンターでは八丈島の自然についての動画をみて八丈島の地形や生態などを学んだ。ふるさと塾では、大澤幸一さんからお話を伺い、八丈島の歴史や八丈語について学んだ。八丈語の中でも地域によって話し方が変わったり、目上の人、同僚、下の人で言葉が変わることを知り、驚いた。その後、ふれあい牧場に向かい、昼食をとりながら景色を堪能した。



### <2日目>

2日目は国仁さんの農園でお手伝いをした。初めて見るロベに大きさと量に驚いた。私たちは、まだ子どものロベを1つ1つ分け、束にしてまた植えるという作業をした。最初は慣れない作業で、作業のペースも遅かったが、だんだんと慣れ、役割分担をしながら楽しく作業することができた。差し入れにスイカを頂き、貴重な体験と思い出を作ることができた。



### <3日目>

3日目はめゆ工房に行き、見学とお話を伺った。黄八丈の糸や布はとてもきれいな色で、染める過程を知り、実際に布を織るところをみることもできた。その後は歩いて裏見ヶ滝に向かい、涼しさを感じ、きらめきの湯で海を見ながら足湯に入った。夕食は島寿司を教わりながら作った。シャリを握り、醤油につけた目鯛をのせて食べた。普段はつけないからしを付けて食べたが、とてもおいしかった。



### <4日目>

4日目は自転車を借り、班で島を巡った。ジャージーカフェやビジターセンター内にあるジェラート屋さんに行き、島のスイーツを堪能した。民芸あきでお土産を買った。島ならではの土産がたくさんあり、何を買おうか悩んだ。自転車での移動は大変かと思っていたが、歩いているときよりも風を感じることができ、涼しかった。夕食は、サンマリーナでバーベキューをした。焼く係を交代しながら食べることもできた。明さんとお話をしたり太鼓をきくことができ、とても楽しい時間を過ごせた。



### <5日目>

5日目は約10時間フェリーに乗った。フェリーから見る八丈島、海や夕陽、夜景はとてもきれいで感動した。島で過ごした5日間はとても濃く、普段経験できないことばかりだった。島の方々とお話したことや、班のみんなと経験したことは一生の思い出になった。また島に観光に行きたいと思う。

### 八丈島に住むとしたら

今回のFSを通して、八丈島の自然や島の方々の温かさを感じることができた。自然がとても近く、島の方々は皆さんとても親切で優しさに感動した。FSで八丈島に来なければそれらを実感することができなかったと思う。しかし実際に歩いて島を巡ってみて、八丈島は車移動が基本であると思った。バスの本数も少ないため、車を自分で運転できないと不便だなと感じた。高齢になり運転が難しく移動手段に困っている方もいるのではないかと考える。私は社会福祉学科で福祉業務について学んでいるため、八丈島に住むとしたら、そのような方などと繋がりを持ち、困っていることの手助けができればと思う。福祉の面からサポートをし、より住みやすい島にできれば、島に移住を考える人や新たに島の魅力に気づく人も増えるのではないかと考える。そのような人が増えれば、島の新たな発展に繋がり、観光産業もさらに大きくなると考える。

八丈島F Sを終えての感想・反省

八丈島でのフィールドスタディーズは非常に充実したものとなった。

到着して初日に実感したのは温暖な気候と動植物の豊富さである。飛行機の搭乗時刻と到着時刻にはほとんど時差がなかったにもかかわらず到着時暑く感じた。ビジターセンターへの道中でも都心部とは比べ物にならない量の虫がおり班員の悲鳴がこだましていたのが思い出される。道沿いには南国らしい背の高い木やソテツ、ハイビスカスが咲いており異国間を味わえた。ビジターセンター付近ではキョンやクワガタ、ルリゴクラクチョウカを観察することができた。台風の進路に被りやすく天候の不安定な時期があり、農作業中にも一瞬降水があったが晴れの日には島の高低差を生かした逢坂橋などのスポットから海と山を一望でき絶景だった。また、八丈富士と三原山で海岸が溶岩と砂浜でそれぞれ形成されていて2種類の景色を楽しむことができた。



次に伝統について記述する。私たちが見学させていただいた黄八丈の工房では機織り機を初めて拝見させていただき、染め方や発展の歴史について説明をしていただきました。一番驚いたのが、黄八丈が八丈島の由来になったということである。1日目に伺わせていただいた大澤さんに教えていただいた島ならではの言葉遣いも衝撃的であり、島という環境だからこその影響を受けず出来上がっていった言葉であると感じた。



八丈島で驚かされたことはもう一つある。それは島民の方々の暖かさである。歩行者はもちろんのこと走っている車や自転車に乗っている人でさえも会釈をしたら返してくれ、都会との差を感じたような気がする。

八丈島に住むとしたら

八丈島の良いところは本土から離れているからこそその独特な気候であると思う。経営の観点からすると希少価値があり、他ではできないことは需要が高く市場競争を避けることができる。全国のシェアのほぼ100%を占め、年間で約10億円を売り上げるフェニックスロベレニーはまさにこの条件に当てはまっている。また、八丈島近郊の海では肉眼で確認できるほどの潮目があり、漁場としても有名である。これらのことからロベの栽培をしながら漁に出て生計を立てていきたいと思う。島では物価が高いと感じた。住むことを考えると改善しなければならない。また台風の通り道でもあるため対策が求められる。

# 八丈島での発見と感動の日々

データサイエンス学部データサイエンス学科 2322095 荒井優弥

## 八丈島FSを終えての感想・反省

### 〈1日目〉

羽田空港から1時間の空旅を終え八丈島空港を出ると、そこには本州とは異なった空気感、緑深い豊かな山々、広い空と海が広がっていた。最初に訪れたのが八丈ビジターセンターでここでは八丈島の自然についてのビデオを鑑賞した。同じ東京であるのにも関わらず全く見たこともない植生や海的环境、八丈島のでき方など知りその後の行動がより一層楽しみものとなった。その後ふるさと塾へ行き、八丈島の島言葉についてと島民の方々の奥底に眠る考え方について学んだ。最後にタクシーで八丈富士ふれあい牧場展望台や大阪トンネルなどを見学した。島の地形や海岸線など独自の形態をなしていることがよくわかり、新鮮な1日目となった。



### 〈2日目〉

八丈島の特産品で国内シェア9割を超えるフェニックスロベレニー、通称ロベの農園のお手伝いをさせていただいた。作業の内容としては成長して5年程度のを一度地面から抜いて束になっているものを解き再び植え戻すというものだった。なかなか慣れないことも多く戸惑うことも多かったが親切にアドバイスやスイカなどの差し入れをいただき終盤には無駄な動作がないほどに再調することができた。またの日を通して班のメンバーと仲をより深めることができた。



### 〈3日目〉

黄八丈めゆ工房や裏見ヶ滝、足湯きらめきを訪れ、夜には島ずしをつくって実食した。この1日では島の産業や雄大な自然、気候にあった食生活を全身で体感した。島の方々とコミュニケーションを通して島について知識を蓄えたのと同時に、特に実感したのは島の方々は私たちを丁重におもてなししてくれ常に我々のことを思ってという行動に溢れていた。

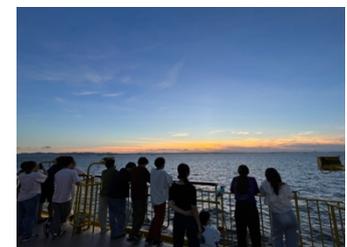


### 〈4日目〉

4人ずつの班を作りそれぞれでルートを設定し自転車で島内巡りをした。「八丈島ジャージーカフェ」でスイーツを堪能し「ポケット」ではハワイアンテイストのハンバーガーを食べた。「民芸あき」や「雑貨屋ラミ」でお土産を購入した。島独特の地形でアップダウンの激しい道を自転車で走行するのは楽ではなかったが、島の風を感じ常の海見ながら八丈島の散策をするのはこの上ない幸せだった。

### 〈5日目〉

フェリーで10時間弱かけて本州に帰ってきた。八丈島に別れを告ぐのは寂しくまだまだそこにいたい気持ちでいっぱいだった。360度広がる海を見渡しながらゆっくり帰るのはまた心地の良いものだった。船内では班の皆とゆったりした時間を共有し最後の時間を惜しんだ。このFSで出会ったすべての人々に感謝し、このプログラムを選んで本当に良かったと実感した。



## 八丈島に住むとしたら

本州とは全く異なった環境であり都会に慣れきってしまっている我々には不便だと感じる点がたくさんあった。しかし、それ以上に八丈島には自然の豊かさと島の人々の心の優しさが詰まっており、人生の一期進展にはもってこいの場所だと感じた。本州に通って仕事を行うのはほとんど不可能なのでリモートワークで完結できる仕事をするか、八丈島のでしかできないようなことを職としたい。またシュノーケリングなど海での趣味をたくさん持ちたい。島の人々の距離感がとても近くコミュニケーションをたくさんとることを重視し、互いに無性の愛で助け合いを行なっている最高の場所だと感じ

## 八丈島FSを終えての感想・反省

八丈島FSを終えて、八丈島の歴史や伝統、文化について事前学習の際とは比べ物にならないほど多くのことを学ぶことができました。しかし、私が八丈島に行って最も驚き、よかったと思ったことは「人と人とのつながり」です。島の人とのつながり、班員とのつながり、引率の方々とのつながり。不思議なくらい多くのつながりを得ることができました。

## ① 島の人とのつながり

島の人たちは、みんな優しくて気さくで、いい人ばかりでした。サンマリーナのあきらさんは風呂に入って歌っている私に話しかけてくるくらい仲良くなりました笑。はなパパは最後まで一緒にいられなかったものの、娘さんの話をたくさんしてくれました。ロベ農園で一緒した元自衛官の方は、とっても筋肉すごくて、島であった中では一番年が近かったので、仲良く話すことができました。また、他にもふるさと塾の大澤さん、スイカをくれた菊地さん等たくさんの方々で貴重なつながりを持つことができました。

## ② 班員と引率とのつながり

この五日間を通して、班員のみんなと引率の二人とはめちゃくちゃ仲良くなりました。正直、ほんとに5日間かかっていうくらい仲良くなりました。一日目は男全員が仲良くなって、二日目のロベ農園から女性も含め全員が仲良くなり、引率のいとしゅんとゆい様も一緒になって八丈島を堪能しました。



↑あきらさんとみんな



↑いとしゅんとゆい様

この八丈島FSの本質は「人とのつながり」だと思いました。八丈島に行かなければ会わなかったであろう人と、ご飯や会計、インスタ係など、分担しながら共に生活し、たくさんコミュニケーションをとり、不思議と友人になり、笑い、楽しみ、つながり、最高の夏の思い出になりました。また、今回の経験から、今後の大学生活では今回得た経験を糧に、積極的に色々な人と話していき、つながりを大切にしていきたいと思います。5日間関わってくださった方々有難うございました。

## 八丈島に住むとしたら

## ・看護師としての自分

八丈島には医療機関が限られており、医療従事者の不足が問題となっています。八丈島FSを通して住民の方から数多く聞く言葉が「医療機関が少ない」という言葉でした。看護師として、地域の医療従事者と協力して、地域住民の健康管理や医療支援に取り組むことができます。また、八丈島は自然豊かな島であり、観光客も多く訪れます。看護師として、観光客向けの健康相談や、災害時の医療支援などに取り組むことができます。

## ・一般人としての自分

八丈島の人口は現在1万人を切っており、少子高齢化が進んでいます。なので、今回行ったInstagramの投稿のように若者がSNSを使って、八丈島の歴史や文化、観光スポットなどの魅力を発信することで、今よりもさらに八丈島への注目を集めることができ改善できると考えられます。

以上のように、若者が八丈島に住み、貢献することによって、地域住民との交流や、八丈島の情報発信、問題解決の策を練るなど、八丈島をよりよくする取り組みを行うことができると考えます。



## 八丈島FSを終えての感想・反省

### 〈1日目〉ふるさと塾、ふれあい牧場

八丈島空港に着き、外に出るとハイビスカスがたくさん咲いているのを見て南国に来たように感じた。まず八丈島ビジターセンターに行き、そこで八丈島はどのような島であるのかを知った。ふるさと塾では、大澤幸一さんから八丈島の歴史や島の言葉についてのお話を聞いた。島言葉のかかるたでは、大澤さんが実際に島の言葉で読んでくださったが聞き取ることが難しかった。ふれあい牧場は八丈富士にあり、牧場から見える景色は八丈島を一望できてとてもきれいだった。ここでは八丈フルーツレモンジャムを使ったジェラートを景色を見ながら食べるのができたので良かった。

### 〈2日目〉ロベ農園

二日目は八丈島空港の近くにあるロベ農園で実際に農作業を体験した。ロベというのはフェニックスロベレニーという観葉植物のことで、5年育ったものを一つずつに分けて植えなおす作業をした。休憩に大きなスイカを持ってきてくださって、冷たくて美味しかったし、夏を感じた。ロベ農園の方々は優しく仕事を教えてくださって、ロベ農園での作業が初めての私たちでも楽しく作業をすることができた。暑中普段は二人で作業していらっしやると考えると経験のない私たちでも少しは力になれたのではないかと考えた。

### 〈3日目〉黄八丈、裏見ヶ滝、足湯、島寿司作り

三日目はまずバスに乗って黄八丈めゆ工房に行き、黄八丈の歴史やどのようにして折られているのかを見学した。その後歩いて裏見ヶ滝に行き、山道を歩いたり滝の裏側を通ったりすることができて楽しかった。足湯きらめきでは、海を見ながら足湯に浸かって歩いた疲れをとった。その後サンマリーナに戻って皆で島寿司を作り、酢飯の作り方やシャリの握り方を学んだ。島寿司の特徴であるネタにお醤油をつけることが日持ちにつながると知った。

### 〈4日目〉サイクリング、BBQ

四日目はグループに分かれてサイクリングで八丈島を回った。まず2班の皆で海を見に行き、その後ジャージーカフェに行ってソフトクリームやプリンを食べた。お昼ご飯はジャージーカフェの近くのポケットで取り、ハンバーガーを食べた。その後お土産を買いに雑貨屋ラミと民芸あきに行った。雑貨屋ラミは手作りの雑貨やアクセサリがあり、夏らしいアクセサリを買うことができた。民芸あきは畳張りの室内で、落ち着いた雰囲気の中でお土産を買うことができた。自転車で八丈島を回ったので、車では通れない細い道を通ったり、少し止まって島の人とお話したりすることができたので楽しかった。



## 八丈島に住むとしたら

私は今教育学部で小学校の教師を目指しているので、八丈島に住むとしたら小学校の教師をやりたいと思う。八丈島ではロベ農園での農作業など本土では体験できないことがたくさんあると知ったので、小学校の体験授業などでこのような体験をしたいと思った。

また、八丈島を回るなかで島の人があいさつをしてくれたり、話しかけてくれたりと、島の人をあたたかさを感じた。私はこのあたたかさは八丈島でしか感じると思うので、この島で暮らしたら人のあたたかひの大切さに気付くことができるのではないかと考えた。

八丈島FSを終えての感想・反省

八丈島のFSに申し込んだ理由は、自分がまだ見たことのない景色や知らない世界を知りたいと思ったからだ。島の暮らしや伝統、景色、料理、歴史などを現地に行き自分の目で見て学びたいと感じ、非日常的な貴重な体験をしたいと思った。

【Day, 1】…朝、8:30頃に八丈島に到着した。まずはビジターセンターとふるさと塾に行き、大澤さんから八丈島の魅力や歴史についてお話を聞いた。江戸時代は罪人や身分が高い人が流罪で流された歴史があったことや八丈島と中国の関係、八丈言葉が絶滅危惧されていることなど学びが多かった。午後は、八丈富士ふれあい牧場に行き目の前に広がる壮大な山と海の景色を眺めながら昼食を食べた。その後、大阪トンネルと南原千畳岩海岸に行き八丈島の雄大な景色を一望し噴火で流れたゴツゴツした溶岩の海岸を歩いた。



【Day, 2】…2日目はロベ農園でロベの栽培のお手伝いをさせて頂いた。ロベを土から掘り起こし、束から1本1本に分ける作業をした。自分が頑張っても愛情をこめて作業したロベがどれほど大きく成長するのか想像すると、小さく可愛らしいロベが大好きになった。ロベ栽培で農作業の大変さや難しさ、楽しさなど多くを知ることができた。長い時間、体を動かしたので休憩中に食べたスイカが最高だった。皆で協力し合いながら何かを成し遂げる楽しさと大切さを学んだ。



【Day, 3】…3日目は黄八丈めゆ工房に行き、八丈島が誇る伝統工芸品の黄八丈を体験させて頂いた。手織りの作業工程や歴史などのお話を聞いた。太陽に照らされた艶やかな光沢がとても綺麗で、様々な色で織られた黄八丈柄がとても美しく華やかだった。昔から使われている貴重な織機を見せて頂いた。裏見ヶ滝と足湯きらめきに行き、心と体をリフレッシュした。歩き疲れたあとに海を眺めながら入る足湯は最高だった。夜は伝統料理の島寿司を皆で握って食べた。はじめて寿司を握ったので人生で特別な体験だった。



【Day, 4】…4日目は自転車を借りて島内を巡った。私は植物公園に行き珍しい動物のキョンを見た。昼食は公園の近くにあるカフェに行きハンバーガーとパフェを食べた。そして空港と民芸あきに行き、旅の思い出のお土産を買った。風を感じながら島の景色を楽しめたので気持ちが良かった。夜はお世話になった方々を招いて皆でBBQをした。島で過ごす最後の夜を全力で楽しんだ。



【Day, 5】…5日目はフェリーに乗り1日かけて東京に帰った。八丈ブルーというとても綺麗な青色の海に見送られ、5日間の旅の思い出と島の良さをふりかえりながら帰った。どこまでも続く広い海と夕日が映り光り輝く海に感動した。私はずっと水平線を眺め最後の旅を楽しんだ。また八丈島を訪れる機会があったら島の人に会いに行きたい。この5日間で私はいくつも貴重な経験をした。見たことのない景色や知らない世界が八丈島には広がっていて新しい発見や学びの連続だった。この旅の一番の学びは仲間の大切さだ。協力し合いながら生活する楽しさを知り、一生忘れられない思い出を作った。



○八丈島に住むとしたら

将来私が八丈島に住むとしたら私は民宿をやりたい。サンマリーナのアキラさんのように多くの学生に宿泊してもらい、学生にとって貴重で東京では経験できない特別な時間になるように八丈島の魅力について紹介したり、その手助けをしたりして私のように八丈島を大好きになってほしい。この八丈島の景色や文化、伝統、島民などの素晴らしさを多くの人に知って欲しいし、教えてあげたい。島に行く機会は多くないので、私たちが島の方々にして頂いたように島でしかできない体験をたくさんさせてあげて一生の思い出にしてあげたい。私が八丈島に住んだらより多くの人に愛され親しまれるそんな八丈島にしていきたい。

## 自然に囲まれた八丈島

経済学部 経済学科 2327101 平川功貴

### ◎八丈島FSを終えての感想・反省

#### <1日目>



八丈島FSの初日は、ビジターセンター、ふるさと塾、八丈富士ふれあい牧場、千畳敷等に行きました。ふるさと塾では、大澤さんからかるたを通して八丈語について教えていただきました。ふれあい牧場や千畳敷では展望台からの景色や千畳敷にある黒い火山岩を実際に見て八丈島の自然に直接触れることができました。ふれあい牧場の展望台から見る飛行機は音が遅れて聴こえ、距離があることを実感した。

#### <2日目>

二日目は、ロベ農園で農作業を行った。普段の生活では体験することできない農作業を行って、農作業の大変さを身に染みて感じる事ができた。また、ロベは種をまいてから葉が採れるようになるまで7,8年ほどかかる。ロベの葉や幹の部分にとげがありそのとげに何度かやられることもあった。



#### <3日目>

三日目は、黄八丈や裏見ヶ滝、足湯きらめきに行き、宿に帰った後、島寿司を作った。八丈島では、寿司はワサビではなくからしをつけて食べるそうで、実際にみるとからし派になるくらい美味しかった。黄八丈や裏見ヶ滝、足湯きらめきを歩いて回る際、途中海が一望できるスポットがあった。

#### <4日目>

四日目は、自転車をレンタルし、島内観光をしました。植物公園や民芸あき、昼食ではポケットというお店に行きました。植物公園内にはキョンという動物を見ることができる場所があり、ハイキングコースのような道では野生のイタチを見ることができた。島内はどこも自然が豊かで暑さを忘れるくらい気持ちよかったです。



#### 「八丈島に住むとしたら」

私は、今回八丈島で約5日間過ごしてみて、島の方々の人柄の良さや、歴史や文化、自然を大切にしているという事にとっても感動した。八丈島は台風の影響を受けやすかったり、天気が変わりやすく、その影響で食料や物、物資がなかなか届かない等のことが起こりえるが、そんな時、八丈の方々はお互いを支え合い生活をしているという話を聞き人柄の良さを知った。また、ふるさと塾というものがあること、八丈ならではの物、ロベや明日葉、自然物等を大切にしていることから、島の方々の人柄の良さや島を大切にしているという事を感じた。このことから、八丈島に住むとしたら、島の方々と観光客と関わることでできる、飲食店で働きたいと思った。いろいろな人と関わり、島の方とは交流を深め八丈島のことについて学び、観光客の方には八丈島の魅力を伝えられるようになりたいと感じた。

八丈島FSを終えての感想・反省

FSで八丈島に行き、4泊5日の研修を行った。今回の研修を通して、私は多くの貴重な体験をすることができた。八丈島で経験したこと、実際に訪れて感じた感想を以下に述べる。

【1日目】1日目は八丈島空港に着いたのち、徒歩でビジターセンターへ向かった。八丈島は日影がなくとにかく暑かった。ビジターセンターでは涼みながら、光るキノコを見てビデオを鑑賞した。その後ふるさと塾で八丈島について尋ねたり、八丈島の方言かるたをみんなで楽しんだりした。八丈島の方言は最も古い日本語が残る方言だと聞き驚いた。かるたをしていても聞いたことのない言葉が多く難しかった。その後、八丈富士ふれあい牧場展望台に行き景色を眺めながら昼食を食べた。牛も見ることができ八丈島の自然に触れ合うことができた。昼食後は大阪トンネル、南原千畳敷、宇喜多秀家と豪姫の像を見学した。



【2日目】2日目はロベ農園のお手伝いをした。ロベの土を払いきれいに並べ、もう一度埋めなおすという作業をみんなで手分けをして行った。私たちが作業していたロベは小さかったが、5年もかけて育てていると聞いて驚いた。ロベは長い年月をかけ育つことを知った。教えていただいたとおりに丁寧に作業するように努めた。作業中は共同作業が多かった為みんなともコミュニケーションをとることもでき親睦を深めることができた。夕飯はカレーを作った。八丈島にきて初の自炊でわからないことも多かったが班員と一緒に協力して作ることができた。



【3日目】3日目は黄八丈めゆ工房に行き、黄八丈の染め方を学び、実際に黄八丈を織っているところを見学した。貴重な機械を見せていただいたりした。黄八丈の歴史を知ることができ、八丈の伝統に触れることができた。めゆ工房を見学した後は裏見ヶ滝へ向かった。坂道や階段が多くとても疲れたが、滝の周辺は涼しく疲れが吹きとんだような気がした。その後足湯きらめきで足湯に入った。足湯をしながら見る海は絶景だった。夕食は島寿司を教えてもらいながら作った。ネタを先に醤油につけたり、ワサビではなくからしを使ったり、普段食べている寿司とは違ってとても興味深かった。いつもはあまり寿司を食べないが自分で作った寿司はおいしかった。



【4日目】4日目は班に分かれて島内を自転車で見学した。私たちは植物公園のキョン、昼食にポケット、お土産に空港と民芸あきを訪れた。自転車で走りながら感じた風は八丈島で過ごした中で一番気持ち良かった。夕食はサンマリーナのあきらさんを含めてBBQをした。みんなと八丈島で過ごした日々を思い前しながら楽しく食事をした。



最初は班員と仲良くなれるか、八丈島での生活を楽しめるかと不安が大きかったけれど、4泊5日を通して貴重な体験を共有したり、本州では味わえない非日常を感じたりすることができ、とても刺激的なそして有意義な研修になったと感じている。今回の研修は大学生活にもこれからの人生にも影響するものになった。

八丈島に住むとしたら

私が八丈島に住むとしたら飲食店を経営したい。八丈島で過ごしてみて私が知らなかった多くの食材が八丈島では作られていた。それらの食材を生かした地産地消料理を出すお店を経営したい。八丈島では飲食店に2店舗行ったが、八丈島でとれた食材を使った料理が多くあった。ご当地の料理は観光客もうれしいと思うが、地元の人にも愛されるようなお店にしたい。

八丈島で5日間過ごしてみて、地元の人が声をかけてくださるなど、気にかけてくださることが多くあった。とても心温まる島だと改めて感じた。きっと島の方々も助け合いながら過ごしているのだと感じた。島の温かさに触れることができ、また帰ってきたい場所になった。

八丈島FSを終えての感想・反省

八丈島は東京都に属しながらも、上陸してみるとまるで南国の島のような雰囲気が漂う場所でした。また、周囲が海に囲まれているため、透き通った海の青さが目に飛び込み、自然の美しさに感動しました。三日目に訪れた裏見ヶ滝では大自然に囲まれたその中は涼しく、流れる滝の音や自然の香りが肌で感じられる魅力的な場所でした。裏見ヶ滝の後は足湯に行きました。足湯につかりながら見た海の風景はとても綺麗で、疲れも吹き飛びました。そして、八丈島の地元の人々はとても温かく、親しみやすかったです。地元のお店や民宿では、地元の食材を使用した美味しい料理を楽しむことができ、その中で地域の文化や風習に触れることができました。中でも、三日目の夕食の島寿司が印象に残りました。島の人に教えてもらいながらFSの友達と一緒に作り、食べた島寿司は特別おいしく感じました。



四日目は自転車を借りてサイクリングをしました。みんなで海に行ったり、お昼ご飯を食べにカフェに行ったり、キョンを見に行ったりしました。島を自転車で走ってみると坂道が多かったのですが、マウンテンバイクで風を切って下る坂道はとても気持ちがよかったです。サイクリング途中に食べたハンバーガーはとてもおいしく、元気が出ました。そのあとはキョンに会いに行きました。キョンは私が思っていた以上に小さく、かわいらしかったです。



最後に、八丈島で夜に見た月は、千葉で見る月よりも何倍も光り輝いていました。星も出ていてとても綺麗だったことを覚えています。二日目にみんなで夜、海まで星を見に行きました。人口光が極端に少なかったので澄んだきれいな空を見ることが出来ました。

今回八丈島に行くのは初めてだったのですが、八丈島は自然豊かで魅力的な場所であり、休暇やリフレッシュに最適な場所だと四泊五日生活してみて感じました。普段あまり触れ合うことのない自然と触れ合うことで、心身共にリラックスできる経験をすることが出来ました。とても充実した八丈島FSになりました。また機会があれば絶対に訪れたいと思います。

八丈島に住むとしたら

私は八丈島の素敵な面は、自然の豊かさだと思います。八丈島の美しい海でのダイビングやシュノーケリングは八丈島の大きな魅力のひとつだと感じました。一方、交通手段が困る面だと思いました。八丈島は人口が少なく、観光客もまばらなため、交通手段や公共施設のアクセス面が少し不便なところがあると感じました。また、島内は山がちな地形であるため、運動不足の身体には少しきつい移動が多いかもしれません。なので、解決法としてはタクシー会社を設立すれば、八丈島の良さを多く観光客に伝えられると思いました。以上のような要素を充実させながら、八丈島の暖かい気候や美しい自然環境を満喫し、ゆったりとした島の生活を送りたいと思います。

## 八丈島の魅力

グローバル学部日本語コミュニケーション学科 2316029 高橋かのん

### 八丈島FSを終えての感想・反省

八丈島では、自分が普段暮らしている中では決してすることのないたくさんの経験や普段見ることのない景色をたくさん見ることができました。



その中で私が特に心に残った景色を紹介します。一つ目は左の写真の裏見ヶ滝です。二日目の島内巡りの際に見ることができました。滝自体は大規模なものではありませんでしたが、滝の裏を通って見ることができるという珍しいスポットでした。滝自体初めて見るものでしたし、水が流れている裏を通るという体験ができてとても面白かったです。また滝を含め周りの森のような静かな雰囲気が普段住んでいる場所にはないようなものだったのでとてもお気に入りの場所になりました。この場所では滝を見ることができただけでなくハート型の岩もあり、パワーをもらえる場所だと思いました。二つ目は、真ん中の写真のふれあい牧場です。この場所も二日目の島内巡りで訪れました。八丈島の八丈富士の上立っている牧場で、八丈島全体の景色を見ることができました。牧場にはたくさんの牛がいて、至近距離で見ることができました。私がこの場所で心に残ったのは島の海の青さです。普段見る海の何倍も青くてきれいで、とても感動しました。また、ここから帰る際に道路のわきに牛が何頭もいて車の中から近い位置で牛を見ることができ、八丈島のふれあい牧場が大好きな場所のひとつになりました。そして、一番右の写真は今回宿泊させていただいたサンマリーナの前に立っていた木です。枝のわきからぶら下がっているのが不思議で印象深かったです。この木の他にも島で初めて見る植物があって、そのようなたくさんの植物も島の魅力の一つだと思いました。ハイビスカスが至る所に咲いてとても綺麗でした。自生しているハイビスカスは摘んでもいいとのことだったので皆で頭に付けたのも良い思い出です。

また、短い期間ではあったけれど班のみんなとの共同作業も普段かかわることのないメンバーだからこそとても大切な時間と経験になりました。そして集団生活の中で学ぶこともたくさんありました。今回のFSは、効率よく作業を進めることだったり、集合時間を守ることであったりみんなで助け合うことの重要性を改めて知るよい機会になりました。そして島民のみなさんの温かさにもたくさん触れることのできる機会でもありました。ふるさと塾や宿舎の方やロベ農園のみなさん、タクシーの運転手の方など関わった方全員がとても親切にしてくださって、絶対にまた来たいと思える場所になりました。関わってくださった皆さんありがとうございました。

### 八丈島に住むとしたら

今回の島での体験を通して、私が八丈島に住むとしたら農家で働きたいと思いました。理由はロベ農園での農作業が想像していたものよりも楽しかったからです。もちろんすべてを経験したわけではないので分からないこともたくさんありますが、自分が思っていたよりもとてもやりがいのあるものでした。体験した作業はロベの苗を分けて植えるという作業で、初めて経験することだったので最初は慣れなかったけれどだんだんと分ける作業が楽しくなっていたのでもし島に住むのならロベ農園の農家さんで働かせていただきたいです。

## 情け島と呼ばれる八丈島での三日間

グローバル学部グローバルコミュニケーション学科 2315055 高橋奏来

### 八丈島FSを終えての感想・反省

私は東京都でありながら気候や生活が大きく異なる八丈島で最高の三日間を過ごした。島民との交流や農業体験などを通して島の歴史や文化、生活に実際に触れることが出来た。

1 日目、飛行機で八丈島に到着した後ビジターセンターへ訪れ八丈島の自然についての動画や展示を見た。次に、大澤幸一さんが建てた『八丈島ふるさと塾』に訪れた。そこでは八丈島の歴史や方言のお話を聞いた。島民のドキュメンタリーや島言葉かるた、民謡を体験してより身近に八丈島の方言を感じた。また、事前学習で調べていた八丈太鼓をそこで実際に見る事が出来て嬉しかった。いつか実際に地元の方が演奏しているのを見たい。八丈島歴史民族資料館では縄文時代から現代の歴史文化を学んだ。学芸員の方が八丈島流人の祖である宇喜多秀家のエピソードや八丈島に関する様々な事を詳しく説明してくれた。八丈島の人々が流人を受け入れる情け島となった経緯のお話はとても興味深かった。移動の際にお世話になったタクシーの運転手さんによると八丈島は天気はコロコロ変わるそうで、この日も晴れたり曇ったりであった。しかし、夜には凄く綺麗な満天の星空や月の出を見ることが出来た。二日目は曇りで星が見られなかったのでこのとき全員で見ることが出来て良かった。



2 日目の午前中は、八丈島の特産植物であるフェニックスロベレニを育てている大興園で農作業をした。農作業の多くが手作業で汗だく泥だらけになり大変であったが、農園の方々や周りのみんなが頑張っている姿に励まされた。最後の方には作業が楽しく感じ、作業を終えた後の畑を見て強くやり甲斐を感じた。午後はシーサイドキッチン環で昼食を食べ、海辺のベンチ、大里の玉石垣、大阪トンネル、裏見ヶ滝、ふれあい牧場、民芸アキの計7か所を巡った。名所巡りをしている最中、タクシーの運転手さんや地元の人達が気さくに話しかけてくれてとても嬉しかった。夜にはお世話になった方々と BBQ や島寿司、八丈オクラ、マンゴーラッシーなどを楽しんだ。最後に、ふれあいの湯の温泉で一日の疲れを癒した。

3 日目は橋丸という船で11時間かけて神湊港から竹芝港へ向かった。船から見える八丈島が小さくなるにつれて寂しさを感じた。今まで11時間も船の上で過ごした経験はありませんでした。デッキで波を眺めたり座って海風にあたりながら仲間と話している瞬間はとても良い思い出になった。

八丈島では本土で決して見る事の出来ない素晴らしい景色や歴史文化を沢山見ることが出来た。このような非日常的な体験を地元の方々や素敵な仲間たちと経験することができて感謝している。今回のFS八丈島で得られたことは多くある。それらを今後の学生生活に大きく活かしていきたいと考えている。次に八丈島を訪れるときは、より多くの八丈島の文化を体験してより深く八丈島のことを知りたい。

### 八丈島に住むとしたら

私が八丈島に住むとしたら、八丈島の観光業を盛り上げる仕事に従事したいです。なぜなら多くの人に八丈島の良さや島民のあたたかさを知ってもらいたいからです。また、八丈島は東京から約1時間で往来が可能の為、より観光客を増やせるポテンシャルがあるからです。日帰り旅行が出来る観光地は長期休暇でなくても気軽に週末に訪れることが可能な為、東京へ旅行に来た外国人観光客だけでなく関東在住の人々などもターゲットにすることが出来ます。さらに、街を活性化することが出来れば仕事も増えるため、移住する人や帰省する人が増える、そして観光業だけでなく他の産業も盛んになるという利点もあります。私はこのFSで八丈島の素敵なお話を沢山知りました。八丈島にしかない景色や文化、方言などが決して衰退することなく末永く次世代に受け継いでもらえるようお手伝いをしたいです。

## 八丈島FSを終えての感想・反省

### 【1日目】

八丈島に到着して、まず感じたことは、都内との気候の違いである。八丈島は湿気が多く、とても蒸し暑く感じた。空港から、ビジターセンターに歩いて向かい到着した時には汗をかなりかいた。ビジターセンターでは、八丈島の自然や、生き物、植物などについて学んだ。次にふるさと塾に行き、大澤幸一さんに八丈島についてのお話を伺った。そこで、最も印象に残ったのは、八丈島の方言についてである。八丈島の方言は現在、ユネスコによって世界絶滅危惧言語に指定されており、島内で話せる人人が少なくなっている。この貴重な文化をなくさないように、小学校では、劇などを通じて八丈方言に触れたり、八丈島にちなんだものが取り入れられているカルタなどで覚えたりして、方言が絶滅しないようにと工夫をしていることを知った。昼食は空港にあるアカココでとり、次に八丈島歴史民俗資料館に訪れた。ここでは、縄文時代から現代までの歴史や文化を順番に見て学ぶことができた。八丈島は流人を大事にしていたため、その人達から、様々な文化や知恵を多く取り入れられた島であることが分かった。その後、ジャージーカフェに行き、みんなでソフトクリームを食べた。サンマリーナに帰ってきた後、日が落ち空を見上げると、都会では見えないような星空が広がっており、とても綺麗だった。

### 【2日目】

午前中は浅沼利光さんが所有しているロベ農園にお邪魔して、フェニックスロベレ二一の農作業を体験させていただいた。泥を落とす作業、根を分ける作業など全てが手作業で、約3時間の作業の中で、たくさん汗をかき、洋服も泥だらけになり農業の大変さを体感した。しかし、農園の人達や仲間たちと協力して作業を進めることに楽しさを感じ、とてもやりがいのある仕事であると感じた。午後は班ごとに分かれて八丈島の名所をタクシーで回った。お昼はシーサイドキッチン環でボリュームなハンバーガーを食べた。その後、海辺のベンチ、大里の玉石垣、大阪トンネル、裏見ヶ滝、ふれあい牧場、民芸アキに行った。特にふれあい牧場からの眺めは心を打たれるほどの絶景だった。緑と、海がどちらも綺麗でとても印象深いです。夜はお世話になった島民の方達と島寿司やバーベキューを楽しんだ。島寿司がとても美味しくまた食べたいです。その後、みんなでふれあいの湯という温泉に行った。

### 【3日目】

神湊港から竹芝港まで 11 時間ほど船に乗って帰ってきた。船から見る景色もとても綺麗だった。2日間色々な活動で仲も深まった友達と話したり、カードゲームをしたりして船内の時間を過ごした。



### 八丈島に住むとしたら

職業としてはロベ農園に務めたいと思う。結婚式の時などに自分が栽培したロベが友人の式のテーブルを彩れるということがとても素敵だと感じた。また、それとは別に観光客をもたらしことができる飲食店を営むことも好ましいと考える。旅行先で写真が映える飲食を提供したら、訪れる目的にもなると考えるからだ。実際に3日間生活してみて、車での移動が基本であると思った。実際に住むとしたら自動車の免許は必須であると思う。また、私たちの班のように、天気の影響を受けやすい場所であるということを感じた。数時間前までは土砂降りだった雨も嘘のように回復することが実際にあった。この点が難しさであると思う。そして、観光客の目線として、都内にあるような電動自転車や電動キックボードを自由に貸し借りできるサービスを八丈島にも取り入れると移動が楽になり、より観光客が増えるのではないかと考える。

## 八丈島FSを終えての感想・反省

私たち3班は台風の影響により予定よりもかなり早く帰ることになってしまった。しかし短い島での暮らしであったが思い出に残るとても貴重な体験を味わうことができた。そして事前調査で八丈島の自然について興味を持っていたため実際に見ることができるのをとても楽しみにしていた。

### <1日目>

初日はまず羽田空港から飛行機で八丈島まで行った。八丈島まで行く便が天候調査によっては飛ばないという可能性もあったため無事到着できいいスタートを切れたと感じた。八丈島に到着してからはまず、ビジターセンターへ向かった。ビジターセンターでは八丈島の歴史や生き物、自然などについて学んだ。事前調査では知ることのできなかつたことまで様々なことを知ることができ、より八丈島に興味を持つ良い機会となった。ビジターセンターを後にしてふるさと塾へ向かった。ふるさと塾では大澤さんから八丈島についてのお話を伺った。八丈島はかつて流民が多く、情けの島と歌にもされているという話を聞いて昔からとても親切な島であるということが分かった。そして八丈島の島言葉についてもお話を伺った。八丈島の島言葉は島内でも話す人が減ってきており、ユネスコの世界絶滅危機言語に指定されているということも学んだ。私はこのお話を聞いて、八丈島の歴史や文化を守っていくためにも島言葉を未来に残しておくことが大切であると思った。大澤さんからお話を伺った後はみんなで八丈島の島言葉のかるたを行った。普段聞くことのない言葉ばかりだったので意味については大澤さんの解説がなければ理解できなかったが、楽しみながら実際に島言葉に触れることができとても良い経験となった。



### <2日目>

2日目は午前中に浅沼さんのロベ農園で作業のお手伝いをさせていただきました。ロベを一つ一つに分ける作業と分けてある乾いたロベを地面に植える作業を行った。大人数であっても大変なのにいつもは少人数で作業していると考えたと浅沼さんたちの凄さを感じることができた。スイカやアイスの差し入れもしていただきとてもありがたかった。午後は班ごとに分かれて島内を巡った。特に印象に残っているのは海辺のベンチである。理由は、ベンチから見える夏の生みの綺麗さに感動したからである。またふれあい牧場から見える景色もとても絶景で行くことができよかったと思った。昼食の時に訪れたハンバーガー屋さんでは美しい海を見ながらの食事ができてとても感動した。夕食はお世話になった方々を招待してBBQをした。島で採れた野菜や島ずしを食べて食事でも八丈島を感じることができた。みんなで食べる夕食はとても楽しくとてもおいしく感じた。来ていただいた島の方々も楽しんでくれている様子で嬉しかった。予定よりもとても短くなってしまったが、多くの島の方々に出会い、あたたかさに触れることができたし、八丈島の自然を目一杯感じられることができたのでとても充実したFSになったと思う。また機会があれば八丈島にもう一度訪れたいと思う。



### 八丈島に住むとしたら

私がもし八丈島に住むとしたら海の近くで飲食店を開きたいと感じた。八丈島に行って私はその海の綺麗さに心惹かれた。実際に海の近くにある飲食店を訪れたとき美しい海を見ながらの食事のおいしさにとっても感動したためそう感じた。また観光客の方々にも美しい八丈島の海を食事しながら楽しんでもらうことができるため海の近くで飲食店を開きたいと思った。この島での暮らしを通して特に感じたことは、島に暮らす方々のあたたかさである。島外から来た我々を快く受け入れてくれ、どんな時も優しく接してくれたため安心して島での暮らしを楽しむことができた。そして壮大な自然の美しさにも心がひかれた。海はもちろんのこと、山やそこから見える景色、裏見ヶ滝や玉石垣など魅了されるものがとても多かった。島の方々のあたたかさに触れ、壮大な自然を全身で感じて八丈島が大好きになった。

## 八丈島FSを終えての感想・反省

### 【一日目】

台風の影響で八丈島到着が遅れたが、これも良い経験だった。八丈島に着いて最初にビジターセンターへ向かった。入口には「いらっしやいませ」を意味する方言「おじゃりやれ」と書かれていて、島に来ていることを実感することができた。ここでは八丈島の歴史や生息している生き物について学んだ。次にふるさと塾を訪れ、大澤幸一さんから八丈島での体験談や方言についてお話を聞くことができた。実際に八丈島の方言を基に作られたかるたで遊び、楽しく八丈島の方言を学ぶことができた。最後にジャージーカフェに行き、ジャージー牛乳を使用したソフトクリームをみんなで食べた。



### 【二日目】

二日目は朝早くから宿を出て、ロベ農園に向かった。ロベ農園では結婚式や卒業式などで飾られているお花の浴え 葉としてかかせない「ロベ」を育てる手伝いをした。 みんなで協力しながら作業することでより達成感を得る ことを学んだ。台風の影響で帰らなければいけなくなっ たため、急遽二日目の午後に島内巡りをする事になった。私のグループは最初に一休庵で明日葉うどんを食べ、八丈島の名産である明日葉を味わうことができた。次にふれあい牧場に行き、牛と触れ合ったり、三原山や海の絶景を見たりすることができた。他にも裏見々滝や、近くにある裏見々滝温泉に行き、八丈島の自然を感じることができた。夜はお世話になった方々をお招きし、BBQをした。島寿司も食べることができ、からしが入っているお寿司なの が新鮮で美味しかった。



### 【三日目】

三日目は宿舎の全員で宿を掃除した後、台風の影響で4泊できなかったため10時間半かけてフェリーで東京まで帰ってきた。夜のレインボーブリッジがとても綺麗で充実した時間だった。



### 八丈島に住むとしたら

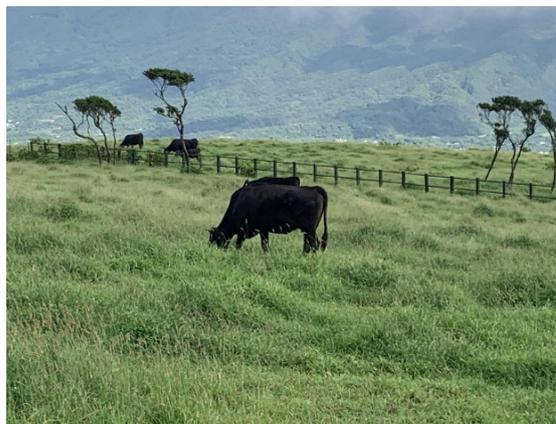
私は八丈島に住むとしたら、島で幼稚園の先生を務めたい。元々小さいころから子どもの面面倒をみるのが好きで、中学校の職場体験では自ら幼稚園を選ぶほど憧れていた。八丈島ではロベ農園や、名所巡りの時にお世話になったタクシーの運転手さんなどたくさんの人と関わる機会があったが、何もわからない私たちにとっても丁寧に優しく教えてくださった。その環境がとても暖かく感じ、私も八丈島の環境の中でたくさんの子どもの子どもに色々なことを教え、現地の人のように暖かい環境を作っていきたいと考えた。また、幼稚園などでただ遊ぶだけではなく、実際に農園の手伝いや方言に触れさせることで八丈の文化に早くから触れることができると考えた。そして、八丈島にはコンビニエンスストアやスーパーの数が少なかったり、電車がいないため車で移動したりと、不便な部分もたくさんある。もし島の幼稚園で働くことになったら、小さいころからなんでも一人でできるような行動力を身につけさせたいと思った。

### 八丈島F Sを終えての感想・反省

八丈島F Sを終えての感想としては、多くの魅力が見つかってとても充実した、と言える。まずは人の優しさ、温かさといった目には見えない部分だ。八丈島で活動する中で私は多くの人の優しさに触れたと思う。例えば、農業体験の休憩時間に差し入れとして、アイスとスイカをくれた大興円の方々、笑顔で私たちを迎え入れてくださったホテル・サンマリーナの方、島の自由散策の時に素敵な場所に案内して下さったタクシー運転手の方など、島の外から来た私たちを心から受け入れてくれたことは、とてもうれしかった。江戸時代に八丈島に流された人々を島の人々は温かく受け入れ、「情け島」と呼ばれていたことから、八丈島の人々の島外の人々に対する優しさは昔から現代へ受け継がれているものである、と推測した。また、以前、「新保式土器」と呼ばれる縄文時代中期に主に福井県北部から新潟県北部に分布していた土器が発掘されていて、八丈島は北陸などの地域と交流があり、この土器はその時にもらったものである、と考察したが、そのころから、島外の人々を受け入れる精神ができた、と考えることができた。この、受け継がれてきた島外の人々に対する優しさが八丈島の魅力の一つだと思う。もう一つの魅力は独特な自然の数々、目に見える部分だ。八丈島では、普段の東京では見ることができないものが数多くあり、とてもわくわくしたことを今も覚えている。例えば、アロエの葉などの植物、三原山や八丈富士といった山、パワースポットと呼ばれる裏見ヶ滝など数魅力的な自然の数々を楽しむことができた。特に八丈富士にあるふれあい牧場には、多くの牛がいたり、とても眺めの良い景色があったりとその自然の素晴らしさを堪能することができた。また、私たちが1日目に訪れた八丈ビジターセンターではその自然の特徴や八丈島の地形の秘密、今回行くことができなかった海についての情報などを細かく学ぶことができた。ただ、自然の素晴らしさを楽しむだけでなく、詳しく理解することができることは、八丈島をより楽しむことができるポイントだと思った。この3日間で八丈島の見える魅力と見えない魅力を知ることができたことは新たな発見だ、と考える。



### 八丈島観光地図



### 八丈島に住むとしたら

私は、初対面の人ともすぐに仲良くできることが自分の長所である、と思う。だから、八丈島で一人暮らしをすることになったら、それを活かして島民の方々とコミュニケーションを通じて慣れない生活にも対応していきたい。八丈島は私が住んでいる場所と比べて雨が降るため、生活をしていく中で苦しい思いをすることがあると思う。しかし、島民の方々とコミュニケーションを通じて、仲良くなることによって、島の生活で不慣れな部分もアドバイスをもらったり、お互いにできることをサポートあったりして充実した一人暮らしをすることができる可能性がある。また、私は料理をすることが好きであり、朝と夜は自分で料理を作って食べている。だから、島でとれる食材を使って料理をしたり、島寿司といった郷土料理を作ったりして、生活の糧にしていきたいと考えている。さらに、作った料理を近所に住んでいる島民の方々と一緒に食べて、より仲良くなっていきたい。

## 八丈島FSを終えての感想・反省

**1日目** 初日は、羽田空港に6時半で今回の八丈島FSが始まりました。

八丈島空港に着いてからは、全員の到着を確認してからビジターセンターに向かいました。ビジターセンターでは、島の自然や文化を知ることができ八丈島での初めての学習になりました。そのあとは、空港内にあるレストランで昼食をとりました。昼食をとったあとはタクシーでふるさと塾というところに向かいました。ここでは、大澤さんから八丈島での歴史や方言、についてお話を聞きました。ふるさと塾での話はとても興味深いものばかりで時間が過ぎるのがあっという間でした。夕食は、八丈島のスーパーで各々買いました。そのあと宿泊先であるサンマリーナに移動し、挨拶をして夕食の準備をして夕食をとりました。そして、ミーティングをして初日を終わりました。



**2日目** 2日目は、6時に起床し、6時半から朝食をとり

ロベ栽培に向けて準備しました。ロベ栽培は午前中かけて行われました。ロベを1つずつ分けたりするなど簡単な作業を手伝いました。このロベ栽培では、農家さんの偉大さや作業への達成感を感じることができました。そして、午後は班ごとに分かれて島内散策を行いました。私たちの班は、昼食に明日葉うどんを食べ、その後ふれあい牧場、八丈富士、玉石垣、裏見々滝の順番で回りました。島内散策を振り返って八丈島には雄大な自然が広がっていてとても魅力的なところだと改めて思った。そして、17時まで自由行動したあとは今回お世話になった方々を呼んでバーベキューをしました。バーベキューでは一人一人感謝の気持ちを伝えられて、とても良い会になったと思う。



**3日目** 3日目も昨日と同様に朝食をとったあと、三日間お世話になったサンマリーナの掃除をみんなで行った。各々の役割を効率よくできたため予定時間より早く終わらせることができた。そのあといよいよフェリーに乗って10時間半の帰路に着きました。そして、無事つくことができ解散できました。

**振り返り** 今回、八丈島で三日間生活してみて普段私たちが生活するなかでは体験することのできない非日常体験をすることができてとても幸せなことだと思った。今回の八丈島FSは、台風の影響で予定は変わったが島民の方々の優しさや協力によって大成功でおわる事が出来ました。本当にありがとうございました。

### 八丈島に住むとしたら

私が八丈島に住むとしたら、まずロベ栽培の仕事をして生活すると思う。なぜなら、実際にロベ栽培を体験してみて作業が苦痛に感じず作業をこなしていくうちに達成感ややりがいを感じてきたからである。また、私は力仕事や炎天下での作業に自信があるのでロベ栽培が私に向いているのではないかと考える。また、もう一つの職業の選択肢としてタクシー運転手もよいのではないかと考える。なぜなら、今回八丈島FSでの島内散策の中で1人のタクシー運転手の方にとってもお世話になったからである。八丈島に観光に来た方に効率よく回るルートや穴場を教えながら一緒に散策するのはとても魅力的なことだと考える。

住む場所に関しては、八丈島は自然豊かでどこに住居をおいても自然に触れながら生活できると思うが最も人口の多い地域である三根地域に住みたいと考えている。三根には、最も人気のある底土海水浴場などさまざまな観光スポットがあるためとても充実した日々を過ごせると考える。

## また訪れたい八丈島

経営学部 経営学科 2320127 中村文

### 八丈島 FS を終えての感想・反省

今回の八丈島の研修は、2泊3日で行った。他の班と同様に4泊5日の予定であったが、八丈島到着後に台風13号が発生し、帰宅するフェリーが出航しない恐れを鑑み、短縮した研修になった。短い期間であったが、その時の感想及び様子をまとめレポートを作成する。

#### 「1日目」

強風のため飛行機の出発が厳しい中での研修が始まった。出発したものの着陸が中々出来ずに遅れての到着であった。徒歩で空港からビジターセンターに向かい、都会には咲いていない島ならではの花や木を見て、島に到着したのだと実感した。ビジターセンターで八丈島の植物や海の生き物を見物後、ふるさと塾を訪問した。ふるさと塾では、観光大使である大澤幸一さんから八丈島の歴史や文化の話を伺った。アイヌ語や八丈語を含め、日本で話されている8つの言語が消滅危機言語とされている。八丈語を存続させるために自治体では八丈語かるたの配布やかかるた大会の開催、学校では八丈語での演劇をする取り組みが行っている。言語はその土地の文化や歴史の背景と繋がり、先祖代々受け継がれている島の財産である。私は次の世代に伝えていく方法を考えたいと思った。ふるさと塾を後にし、空港で明日葉そばを頂いた。事前学修で明日葉は苦味があると聴き、食べられるか心配であったが、ほとんど苦味はなく、とても食べやすかった。

#### 「2日目」

予定では午前午後とも浅沼利光さんが営んでいる農園で農業体験でしたが、急遽2泊3日になったため、午前中だけ農園の手伝いをさせて頂き、午後は島巡りとなった。私は、農園の手伝いを行い、初めてロベの存在を知った。ロベとは、花束用や観賞用の鉢植えとして生産されている葉で、八丈島の気候だと形の良い葉になるため、八丈島のロベは高品質である。今回は、束になっているロベを細分化し、また植える作業をした。繰り返し同じ作業を行うのは、忍耐力、体力が激しく消耗される。しかし、スイカや飲み物を用意して下さり、また、歌の披露があり、楽しく集中して作業を進められた。島巡りは、1日目に行けなかったふれあい牧場に行った。牛を間近くで見た事がなかったため、じっくり観察した。その後、「名探偵コナン黒鉄の魚影」のロケ地となった海辺のベンチに行った。映画を鑑賞してないが、景色に感動した。崖と激しい波の調和が美しく、何時間でも居続けられると思う。夜は、2日間でお世話になった方々と BBQ をした。台風の影響で予定していた計画より短縮した研修になったが、普段できない経験をすることができ、充実した2泊3日になった。八丈島がさらに豊かになるお手伝いをしに行きたい。

#### 八丈島に住むとしたら

八丈島の定番土産の商品開発をしたいと考える。今回お土産を購入する際に悩み過ぎ、約30分かかってしまった。自身の決断力の無さにも原因はあるが、八丈島には定番土産がないのではないかと感じた。他の県では、伝統的なお菓子や有名なパッケージなどを利用し、そのお菓子を購入すれば、誰もが認知している定番土産を開発している。八丈島も他の都道府県には無いアピールポイントがたくさんあるので、それを活かしたいと考える。具体的にはレモンや明日葉又は歴史や八丈語などが挙げられる。八丈島で誰もが認知している定番商品の開発、もしくは現在販売されているお土産の宣伝や広告を考えたい。



ふるさと塾



ふれあい牧場



BBQ 準備

## 八丈島FSを終えての感想・反省



八丈島の状況は、実は日本や他のいくつかの国が直面している一般的な問題のひとつである。つまり、若者が大都市でより幅広いキャリアや生活機会を求めて、小さな町や地方を離れる傾向にあるということだ。この傾向は、特に遠隔地では、若者の流出は人口の減少を意味するため、小規模な場所での高齢化の問題につながる。また、伝統が若い世代によって継承されなくなることで、地域の文化や言語が消滅することもある。このような問題に対処するためには、若者を定着させ、持続可能な地域発展を促進するために、その土地はさまざまな対策を講じるべきだと思う。これには、教育や雇用機会の提供、インフラの整備、起業の奨励、地域文化の支援などが含まれる。

八丈島の場合、八丈語の保存と継承、そして若い世代を呼び戻すことが重要な課題かもしれない。そのためには、政府、地域社会、非営利団体が協力し、この地域の持続可能性と文化遺産を確保するための適切な政策やプロジェクトを策定し、実施する必要があるだろう。そのような努力は、



八丈島独自の文化と歴史を守り、この美しい場所に滞在する

若者を増やすことにつながるだろう。



外国人である私にできることは、八丈島の魅力をより多くの人に体験してもらうために、自分の体験を友人や家族に伝えることだと思う。「千冊の本を読み、千里を旅する」両足で測り、両目で覚えることは最高の学習である。このような実体験と異文化や異国の地での探検を通して、私は見識を深め、視野を広げ、より広い世界観を身につけることができた。文化の壁を取り払い、異文化理解と友好を促進するのに役立つ、先生たちと学生たちの交流と寛容さに感謝している。先生たちと学生たちの寛容さと配慮のおかげで、この3日間は私の日本での学生生活において特別な時間となった。

## 八丈島に住むとしたら

八丈島に住む留学生として、私は会計学の知識とピアノの才能を活かし、自立した生活を築くことを想定している。八丈島の独自の魅力を活かしながら、以下の方法で地域に貢献し、充実した生活を送る計画を立てた。まず、私の会計学の知識を活用し、地元の経済に貢献する。観光業が盛んな八丈島では、観光施設や宿泊施設の予算立案などが求められている。これらの業務で会計の専門知識を生かし、地元の企業や施設に貢献する仕事を見つける予定である。また、地元の子供たちにピアノを教える音楽教室を開催することで、地域コミュニティに貢献する機会もある。八丈島は自然の美しさと地域社会への貢献の機会が豊富な場所である。会計学とピアノのスキルを組み合わせ、地域で充実した生活を築くことができる。

### 八丈島FSを終えての感想・反省

〈1日目〉 朝6時半に羽田空港に集合し、強風で八丈島行きの飛行機が出発するか不安な中、時間通り7時半に飛行機は八丈島に出発しました。無事八丈島空港に着陸し、最初に行った場所はビジターセンターという八丈島に生息している昆虫や動植物について知れる場所へいきました。そこでは八丈島特有の動植物について知ることができました。次に行った場所はふるさと塾で、そこでは八丈島出身の大澤幸一さんが八丈島について多くの事を語ってくれました。大澤さんは八丈島の方言を大切にしているアイヌ方言と同じように八丈方言はなくなりつつあると言っていました。八丈方言を少しだけ習いましたが、とても難しく、まるで別の言語のようでした。またその八丈方言でかたるを、少しですが八丈方言について知ることが出来ました。次に行った場所は歴史民俗資料館です。そこでは八丈島内で発見された先史時代の遺跡や八丈島の暮らしと産業、流人文化についてのことが展示されており、八丈島の物産といえば黄八丈ということや流人が伝達したお酒が有名など八丈島の歴史や文化について知ることが出来ました。またこの日の夜は星を見に行きました。八丈島から見る星は周りの光が少ないことなどからとてもきれいで、本土から見る星とは全く違うものでした。



〈2日目〉 みんなで朝食を食べた後にロベ農園の体験に行きました。ロベは9割ほどが八丈島で栽培されているそうです。ロベの葉、一枚に価値があり農家の方々はお金が稼げると言っていました。その日は天気が良くて、とても暑く、その日だけで自分はとても疲れましたが、農家の方々はこの作業を毎日やっているのですごいと思いました。午後はタクシーで八丈島の観光地をまわりました。自分たちの班は昼食を食べた後、色々な観光地へ行きました。中でも印象に残った場所は八丈島ふれあい牧場です。そこは広大な緑が広がっていて上から八丈島を見渡すことが出来ます。上から見渡す八丈島は緑が多く自然豊かでとても綺麗でした。その日の夕食は天候が悪くなり最終日ということでお世話になった方々とともにBBQをして楽しく最後の夕食を過ごしました。



〈3日目〉 最終日はみんなで朝食をとり、お世話になったサンマリーナさんの宿舎の掃除をして船で東京まで帰りました。片道およそ10時間ととても長かったです。あたり一面が海の光景はとても綺麗でした。

〈八丈島での生活を終えて〉 台風の影響でとても短い体験になりましたが、地域の人の温かさや八丈島での生活、歴史や文化を知ることが出来ました。また緑が多く自然が豊かなので心が落ち着くし、空気がとても新鮮な気がします。今回のFSで八丈島について知りましたが、もっと多くの人に八丈島の魅力について知ってほしい、八丈島に行ってみてほしい、と感じるような場所だと思いました。3日間という短い期間でしたがいい経験ができました。

### 八丈島に住むとしたら

私もし八丈島に住むならロベ農園で農作業をしながら八丈島の文化や歴史を伝えるような事をすると思います。八丈島はロベを栽培するための気候に適していて、日本では八丈島でしか体験することのできないので、八丈島に住むならその地でしか体験できないロベの栽培をすると思います。また今回の農業体験で農業の大変さや魅力について知ることができたからです。今回の八丈島での生活で思ったことは、島の多くの人が八丈島を誇りに思っていて、もっと多くの人に来て、八丈島について知ってほしいと思っているということです。そのため八丈島のためにできることを考えたところ、島の文化、歴史を観光客に伝えることだと考えました。八丈島に住むなら八丈島を多くの方に知ってもらえるような活動がしたいです。

## 八丈島FSを終えての感想・反省

FSで八丈島に行き、2泊3日の研修を行った。日常生活では体験することができない貴重な体験をした。FSの志望理由は1度訪れたことがあり、もう一度八丈島の自然を味わいたいのが一番である。自身2回目の八丈島で前回体験できなかったことも体験できるだろうと期待を膨らませていたところに台風が接近して、短縮になってしまったが2泊3日で体験したことを以下のレポートにまとめる。

## &lt;1日目&gt;

羽田空港から1時間で八丈空港に到着した。もう一度来ることができたといううれしい気持ちになりワクワクが止まらなかった。気候は雨が降っていたこともあり東京よりも湿度が高く、じめじめしていた。徒歩でビジターセンターに向かい、八丈島に生息する生き物や植物などを学んだ。「光るキノコ」というものもあり本土では見ることのない植物も多くあることが分かった。大澤幸一さんのふるさと塾に行き、八丈方言について学んだ。子供たちが演劇を通して八丈方言を一生懸命に覚えようとしている姿に感動した。方言が消滅する可能性もあることから次の世代へと伝えていかなければならないことが分かった。八丈島歴史民俗資料館では暮らし、伝統文化、流人など様々なことを学んだ。ここでも方言のことが取り上げられており、八丈島の歴史や人々にとっては絶えず残しておきたいものであると感じた。

## &lt;2日目&gt;

午前中は浅沼さんのロベ農園でお手伝いをさせていただいた。農園の方とも沢山会話をしながら楽しく仕事をさせてもらった。仕事に慣れるまでは大変だと思っていたが、みんなで一つの作業をしていく中で楽しさや充実感を感じることができ、終わった後も気持ちのいい達成感を味わった。仕事ということもあり、小さなミスが製品の価値を下げてしまうので慎重に行いながらも効率よく作業をしなければならないことが分かった。ロベは八丈島が日本の収穫量の9割を占めていて、大変貴重な産物ということを知ることができた。仕事全体を通して農作業の大変さや農家さんの気持ちのあたたかさなど様々なことを体験することができ、充実したものになった。午後は各班に分かれてタクシーで八丈島の名所周りをした。自分たちの班は洋食屋ポケット、ふれあい牧場、海辺のベンチ、民芸あきを巡った。各場所で地元の人との話を通してここでも島の人の心のあたたかさを知ることができ、うれしい気持ちになった。東京では見ることのできない自然や風景を存分に楽しむことができ、心が浄化された。夜はお世話になった方々とBBQをして楽しい時間を過ごした。短縮で2日目は詰め込みになったが、午前、午後一日を通して島民の方の心のあたたかさを知ることができた日になった。



## 八丈島に住むとしたら

私が八丈島に住むとしたら、農業をやり、様々な人に体験できイベントを開きたいと思う。ロベの生産を重要視している八丈島では欠かすことのできないものであることが分かった。また、ロベ以外にも野菜などの作物を育てることによってスーパーの数が限られているので直売することで島民の負担を減らすことができる。一番の目的である体験できるというのは自分たちもさせていただいたようにちょっとした体験を通して農業の良さを島民や観光客にさらに知ってもらおう。また、体験中は八丈方言のみで会話をしてもらい、多くの人や若者にも方言に触れてもらう機会を作りたいと考えている。見聞きするだけではなく実際に体で体験することが重要なため機会を増やしたいと思う。

## 八丈島の魅力

グローバル学部日本語コミュニケーション学科 2316029 高橋かのん

### 八丈島FSを終えての感想・反省

八丈島では、自分が普段暮らしている中では決してすることのないたくさんの経験や普段見ることのない景色をたくさん見ることができました。



その中で私が特に心に残った景色を紹介します。一つ目は左の写真の裏見ヶ滝です。二日目の島内巡りの際に見ることができました。滝自体は大規模なものではありませんでしたが、滝の裏を通って見ることができるという珍しいスポットでした。滝自体初めて見るものでしたし、水が流れている裏を通るという体験ができてとても面白かったです。また滝を含め周りの森のような静かな雰囲気が普段住んでいる場所にはないようなものだったのでとてもお気に入りの場所になりました。この場所では滝を見ることができただけでなくハート型の岩もあり、パワーをもらえる場所だと思いました。二つ目は、真ん中の写真のふれあい牧場です。この場所も二日目の島内巡りで訪れました。八丈島の八丈富士の上立っている牧場で、八丈島全体の景色を見ることができました。牧場にはたくさんの牛がいて、至近距離で見ることができました。私がこの場所で心に残ったのは島の海の青さです。普段見る海の何倍も青くてきれいで、とても感動しました。また、ここから帰る際に道路のわきに牛が何頭もいて車の中から近い位置で牛を見ることができ、八丈島のふれあい牧場が大好きな場所のひとつになりました。そして、一番右の写真は今回宿泊させていただいたサンマリーナの前に立っていた木です。枝のわきからぶら下がっているのが不思議で印象深かったです。この木の他にも島で初めて見る植物があって、そのようなたくさんの植物も島の魅力の一つだと思いました。ハイビスカスが至る所に咲いてとても綺麗でした。自生しているハイビスカスは摘んでもいいとのことだったので皆で頭に付けたのも良い思い出です。

また、短い期間ではあったけれど班のみんなとの共同作業も普段かかわることのないメンバーだったからこそとても大切な時間と経験になりました。そして集団生活の中で学ぶこともたくさんありました。今回のFSは、効率よく作業を進めることだったり、集合時間を守ることであったりみんなで助け合うことの重要性を改めて知るよい機会になりました。そして島民のみなさんの温かさにもたくさん触れることのできる機会でもありました。ふるさと塾や宿舎の方やロベ農園のみなさん、タクシーの運転手の方など関わった方全員がとても親切にしてくださって、絶対にまた来たいと思える場所になりました。関わってくださった皆さんありがとうございました。

### 八丈島に住むとしたら

今回の島での体験を通して、私が八丈島に住むとしたら農家で働きたいと思いました。理由はロベ農園での農作業が想像していたものよりも楽しかったからです。もちろんすべてを経験したわけではないので分からないこともたくさんありますが、自分が思っていたよりもとてもやりがいのあるものでした。体験した作業はロベの苗を分けて植えるという作業で、初めて経験することだったので最初は慣れなかったけれどだんだんと分ける作業が楽しくなっていたのでもし島に住むのならロベ農園の農家さんで働かせていただきたいです。



